

# ADOBE® PRESENTER®

## ヘルプとチュートリアル

リンクしている一部のコンテンツは英語でのみ表示される場合があります。

# Adobe Presenter

記事 (2012 年 9 月 25 日)

記事 (2013 年 6 月 14 日)

記事 (2013 年 6 月 14 日)

記事 (2012 年 9 月 25 日)

Adobe Presenter Video Express を使用して、ビジネスおよび e-learning に関するプレゼンテーションを Mac へと瞬く間に記録します

このページからリンクされている一部のコンテンツは英語のみの場合があります。

# Adobe Presenter 9 の新機能

Adobe® Presenter 2013 ソフトウェアは PowerPoint 8 をサポートし、Windows® 8 と互換性があり、すぐに使用できるアセットやクイズを使用してスライドをインタラクティブなコンテンツに変換するのに役立ちます。重要な強化としては、ビデオ編集用簡易 4 ボタンインターフェイス、学習管理システムからのユーザーの進捗状況の追跡機能の向上、クイズおよび調査を含めることで向上したフィードバックが含まれます。

デスクトップで作成でき、ビデオ共有サイトやモバイルデバイスに配信できるビデオとの通信品質が向上します。

Microsoft Office 2013 のサポート: さらに機能が向上した変換ライブラリを使用して、Microsoft PowerPoint 2013 のスライド (オブジェクト、アニメーション、マルチメディアなど) を、インタラクティブなビデオプレゼンテーションに変換できます。

注意: 32 ビット版 Microsoft Office 2013、32 ビット版および 64 ビット版 Microsoft Office 2010、32 ビット版 Microsoft Office 2007 をサポートしています。

Windows® 8 との互換性: 強化されたバージョン互換性。32 ビット版 Microsoft Office 2013 をサポートしています。

強化されたコースオーディオ出力: 周囲のノイズ抑制およびオーディオトラック増幅用の内蔵フィルターを使用して、オーディオ出力を強化します。新しい直感的なオーディオインターフェイスを使用して、PowerPoint スライドを使用したオーディオファイルを録音、同期します。

向上したインタラクティブプレゼンテーション: ドラッグドロップゲーム、クイズ、学習モジュールを使用することで、インタラクティブ性が強化されました。

ドロップターゲットがドロップ項目の許可、拒否、置き換えを実行し、試行ごとにオーディオフィードバックを追加することで、各種関係を設定します。

詳しくは、ドラッグドロップ質問を参照してください。

カスタマイズ可能なシナリオベースのテンプレート: カスタマイズ可能なシナリオテンプレートを使用して、シナリオベースのトレーニングを作成します。結果を事前に定義し、学習者が入力に基づいて指導を受けられるようにします。詳しくは、シナリオインタラクションの挿入を参照してください。

コースコンテンツに注釈を付ける: コースの重要な領域に注釈を付けて、コースをより効果的にします。こうすることでコースの特定の領域に注意を引き付けることができます。詳しくは、ビデオプレゼンテーションの記録を参照してください。

共同学習体験: 学習者がコースの特定のコンテンツにコメントや質問を付けることを許可することで、学習者と作者が共同で学習することができます。コース作成者や他の学習者から質問に対して回答を得ることができ、参加状況を追跡したり、活動的な学習者に褒賞を与えることができます。

タブレットへのパブリッシュ: 複数のクイズ形式を含むコースを、Adobe Presenter モバイルアプリケーションを使用して Android™ デバイスや iPad\* デバイスに提供できます。アプリケーションから AICC 対応の LMS および Adobe® Connect™ に得点データを書き出すこともできます。詳しくは、プレゼンテーションのパブリッシュおよび表示を参照してください。

学習者の追跡とレポート: 統合された Learner Analytics レポートを使用して、学習者の個別のコースの進捗状況を追跡することができます。コースの修正や、学習者を各モジュールに誘導する必要がある場合に学習者を識別することができます。主要指標を追跡、レポートすることで、平均得点や合格、不合格などの基本評価のニーズを学習管理システム (LMS) に投資することなく、追加コストなしで満たします。

アクセシビリティのサポート: 第 508 条規格に準拠し、強化されたアクセシビリティのサポートにより、支援を拡張することができます。防衛、政府、教育機関のアクセシビリティ基準を満たすコースウェアを作成できます。詳しくは、アクセシビリティおよび第 508 条規格準拠を参照してください。

自動クロードキャプション: Presenter 9 は新しい音声入力のテキストへの変換機能を統合し、すばやくクロードキャプションをオーディオトラックに自動的に生成するのに役立ちます。詳しくは、クロードキャプションを参照してください。

カスタマイズ可能なナビゲーションインターフェイス: この機能を使用して、再生バー表示を無効化して、学習者がコースの重要な部分を表示しているか確認します。詳しくは、Adobe Presenter プレゼンテーションの編集を参照してください。

アドビの通知へ直接アクセス: アドビサポートのソーシャルメディアフォーラムにアクセスし、Adobe Presenter 製品チームからの (Adobe Presenter 9 に関するすべての) タイムリーなアップデートを受け取ります。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# シナリオインタラクションの挿入

作成者は、簡単にカスタマイズできるシナリオインタラクションを使用してシナリオベースのトレーニングを作成できます。各シナリオテンプレートには、質問と回答の完全なフローが含まれます。

たとえば、ビジネスシナリオを選択した場合、フローは、複数のオプションを持つ 1 つの質問として事前定義されています。オプションの数と正解の番号を選択します。

パブリッシュすると、学習者に質問が表示されます。オプションは論理的に表示されます。ユーザーは正解を選択して質問への回答を完了する必要があります。それ以外の場合は、再生バーおよびサイドバーがロックされ、次のスライドに移動できません。

注意：

- シナリオベースのインタラクションにスコアは関連付けられていません。
- 新しいインタラクションを作成するには、「シナリオインタラクションを挿入」インターフェイスを常に使用します。プレゼンテーションなしのスライドをコピーして貼り付けないでください。
- シナリオインタラクションは、.pptx ファイル形式のみで動作します。.ppt ファイル形式では、インタラクションは通常の PowerPoint スライドとして動作します。TOC と再生バーロックは .ppt ファイル形式では動作しません。

シナリオベースのインタラクションを作成するには：

- 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループでインタラクション/シナリオインタラクションを挿入をクリックします。
- 「シナリオインタラクションを挿入」ドロップダウンリストで、挿入するインタラクションのカテゴリを選択します。現在使用可能なテンプレートは 4 つあります。ビジネス、コールセンター、医療、一般です。
- 左ペインで、シナリオを選択します。たとえば、業務の場合は、「業務 1」を選択します。
- オプションの数と正解オプションを選択します。「プレビュー」をクリックして、インタラクションをプレビューします。
- 「OK」をクリックします。

スライドの外観を変更するには：

- プレースホルダーのテキストを編集します。
- 画像の位置を調整します。
- 画像のサイズを変更するには、直接に拡大/縮小するか、文字を右クリックしてサイズ変更オプションから異なるサイズを入力します。
- 「人物」オプションから新しい人物を導入します。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# ドラッグドロップ質問

ドラッグアンドドロップインタラクションにより、ユーザーの知識を評価する、楽しく興味深い方法を提供します。このインタラクションを使用することで、指定の領域やオブジェクトにオブジェクトをドラッグアンドドロップして、質問に回答することができます。

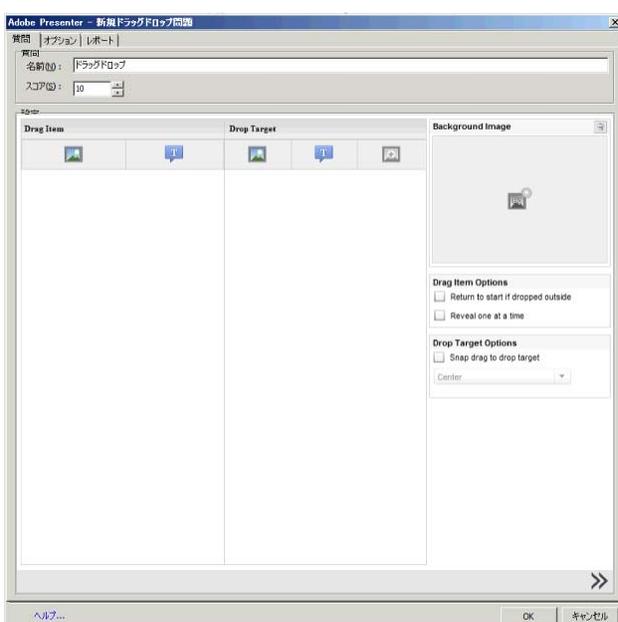
ドラッグアンドドロップインタラクションには、ドラッグソースとドロップターゲットが含まれます。ドラッグソースをドラッグして、ドラッグソースをドロップターゲットにドロップします。

ドラッグドロップ質問を挿入するには:

1. ドラッグアンドドロップ項目を追加し、これらをマッピングして正解を設定します。

注意: ドラッグアンドドロップは、.pptx ファイル形式のみでサポートされており、.ppt ファイル形式ではサポートされていません。

- a. Adobe Presenter リボンの管理/質問を追加/ドラッグドロップをクリックします。採点またはアンケート形式の問題を選択するには、「オプション」タブから「評価形式の問題の作成」または「アンケート形式の問題の作成」をクリックします。



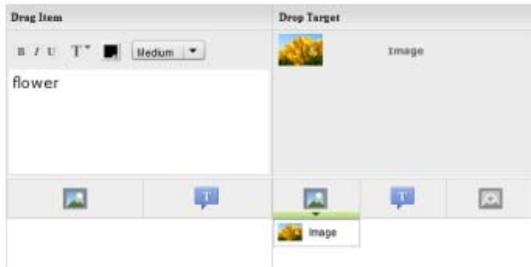
ドラッグアンドドロップ質問画面

- b. 「名前」フィールドで、ドラッグドロップ質問の指示を入力します。「スコア」フィールドで、ユーザーが質問に正しく回答した場合の得点を指定します。
- c. 「項目をドラッグ」列で、次のいずれかを実行します。
  - テキストを挿入するには、「テキスト」アイコンをクリックしてテキストを入力します。
  - 画像を挿入するには、「画像」アイコンをクリックして画像を参照します。
- d. 「項目をドラッグ」列に対応する行で、次のいずれかを実行します。
  - テキストをドロップ項目として使用するには、「テキスト」アイコンをクリックしてテキストを入力します。
  - テキストをドロップ項目として使用するには、「画像」アイコンをクリックして画像を参照します。
  - 空白のドロップ項目を使用するには、「空白ドロップ」をクリックします。これにより、質問スライド内に空欄を作成することができます。例えば、空白のドロップ項目を使用して、穴埋めタイプの質問の間に空欄を追加することができます。

最初の行のドラッグ項目は現在、指定したドロップ項目の正解としてマッピングされています。

- e. 複数のドラッグ項目を1つのドロップ項目にマッピングできます。ただし、各ドラッグ項目に対して別々の行を追加し、それに対応するドロップ項目を選択する必要があります。例えば、AとBの両方を「アルファベット」にマッピングする必要がある場合は、最初の行にはA(ドラッグ項目)と「アルファベット」(ドロップ項目)が含まれます。B(ドラッグ項目)を含む2番目の行も、「アルファベット」(ドロップ項目)にマッピングされます。

ヒント: すでに追加済みのドロップ項目は、次に使用できるようにドロップダウンリストに表示されます。



多対1ドロップ項目- ドロップダウンリストから他の項目を選択します

2. ドラッグアンドドロップ項目のプロパティを設定します。

外部にドロップした場合は、項目を開始点に戻す フレーム外にドロップした場合、その項目は開始点に戻ります

一度に1つずつドラッグ項目を表示 実行中はドラッグ項目を1つのみ表示し、他のドラッグ項目を非表示にします。

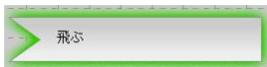
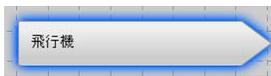
3. (オプション) ドラッグアンドドロップ質問の Presenter 背景画像を選択します。この Presenter 背景画像は、質問スライドのデフォルトの PPT 背景を上書きします。

4. 画面の下部にある  アイコンをクリックします。パブリッシュされた出力で表示するとおりに、ステージのドラッグアンドドロップ項目をレイアウトできる、グリッドレイアウトが表示されます。

画像はサイズ変更およびドラッグアンドドロップすることもできます。

各ドラッグアンドドロップ項目は、明るい色の境界線でカラーコードされます。項目のカラーコードを使用すると、ドラッグアンドドロップ項目の移動中にこれらを識別するのに役立ちます。

たとえば、項目 A のカラーコードが緑色で、項目 B のカラーコードが青色であれば、学習者は項目をすぐに区別できるので作業しやすくなります。



カラーコードされたドラッグアンドドロップ項目

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# クローズドキャプション

注意： 追加的言語サポートおよびポストプロダクション編集機能は、Presenter 9 以降のみ使用できます。

Adobe Presenter は、スピーチをテキストに変換するエンジンを介して、収録時にキャプチャされた音声をクローズドキャプションテキストに自動変換します。

独自の原稿をクローズドキャプションテキストとして入力して、使用することもできます。

また、クローズドキャプションテキストのポストプロダクションを編集画面で追加 / 編集することができます。

クローズドキャプションの有効化および無効化は、Adobe Presenter ビデオ記録画面と Adobe Presenter ビデオ編集画面の両方で **CC** ボタンでコントロールできます。

クローズドキャプションを有効化すると、キャプションが Adobe Presenter ビデオ編集画面の右ペインに表示されます。再生するビデオのタイムラインを基にしてキャプションは構成されます。

サポートされている言語\*：

1. 英語
2. スペイン語
3. ドイツ語
4. 日本語
5. フランス語
6. 韓国語

\*選択された初期 Presenter 言語バージョンに基づく。

## ビデオ記録時にクローズドキャプションを追加する

[トップへ戻る](#)

スピーチからテキストフォーマットへ自動変換するクローズドキャプションのスピーチ・テキスト機能を使用したり、またはプレーンテキストのフォームで原稿を入力することもできます。

クローズドキャプションの自動作成

1. Adobe Presenter ビデオ記録画面から、「CC」ボタンをクリックしてクローズドキャプションを有効化します。
2. 記録を開始します。
3. 音声トラックを追加し、記録を「終了」します。
4. スピーチがテキストに変換されます。

注意： 完了後、CC ペイン上にテキストが表示されるまで少し時間がかかります。

スクリプトからクローズドキャプションの作成

1. Adobe Presenter ビデオ記録画面から、「CC」ボタンをクリックします。原稿をテキストペインの右側に追加します。
2. 記録を開始します。「終了」を押して、記録を完了します。
3. 画面の右側にある CC ペインにテキストが表示されます。Adobe Presenter は、ビデオタイムライン通りにテキストを自動構成します。

## ポストプロダクションのクローズドキャプション編集

[トップへ戻る](#)

1. Adobe Presenter ビデオ編集画面から、「CC」ボタンをクリックします。ポップアップメニューリストから「CC を編集」をクリックして、選択します。
2. CC コンテンツパネルが表示されます。
3. テキストをダブルクリックして編集します。

知っておくべき要点：

1. CC パネルを開く、または閉じるには、記録画面または編集画面にある「>>」ボタンを使用します。
2. CC を無効化するには、「CC」ボタン付近をクリックして、「ポップアップメニューをオフにする」を使用します。
3. 既存の記録にクローズドキャプションを追加するには、記録を再開する前に Adobe Presenter ビデオ編集画面で CC を有効化します。
4. クローズドキャプションが完了すると、作成された CC のみ編集することができます。クローズドキャプションの再作成はできません。

#### 関連トピック

- [Adobe Presenter のアクセシビリティ](#)
- [ビデオでのクローズドキャプション \(Adobe Presenter Video Creator\)](#)

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# アクセシビリティおよび第 508 条規格準拠

Adobe Presenter からパブリッシュされたプロジェクト出力は、視覚、聴覚、または運動機能に障害のあるユーザー向けに、第 508 条規格に準拠しています。

Adobe Presenter は、パブリッシュされた出力の画面に表示されているテキストを音声に変換するスクリーンリーダーである、JAWS (バージョン 13 および 14) をサポートします。ユーザーは JAWS をコンピューターにインストール、起動してからパブリッシュされた出力を開く必要があります。JAWS はフォーカスされたコントロールを読み上げます。JAWS が実行中の場合は、出力画面のオブジェクトおよびシェイプは、周りに黄色の境界線で強調表示されます。

ユーザーは Tab キーを使用してフォーカスを変更できます。TOC、再生バーなどの PowerPoint プロジェクトのすべての要素のアクションをスペースバーおよび Enter キーを使用して実行することができます。

Adobe Presenter 出力の次の要素は、(キーボードと同様に) JAWS からアクセスできます。

- 添付ファイルを含む再生バーコントロール
- アウトライン、サムネール、ノート、検索ペインなどのスライドパネル
- スライドノート
- スライドのコンテンツテキスト、アクション、ハイパーリンク、画像、クイズなど

## 関連トピック

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# Adobe Presenter の概要

---

[Adobe Presenter について](#)

## Adobe Presenter について

[トップへ戻る](#)

Adobe® Presenter は、e ラーニングコンテンツと高品質のマルチメディアプレゼンテーションを手早く作成するためのソフトウェアツールです。Adobe Presenter は、Microsoft Office スイートの一部の Microsoft PowerPoint アプリケーションのためのプラグインです。完成したプレゼンテーションは Flash® 形式 (SWF ファイル) になります。Adobe Presenter を使用して作成されたコンテンツは、SCORM 1.2 および SCORM 2004 と AICC に準拠しています。

Adobe Presenter をインストールすると、PowerPoint からこのアプリケーションにアクセスすることができます。PowerPoint 内で「Adobe Presenter」リボンを使用して、Adobe Presenter のすべてのオーサリング機能にアクセスすることができます。

Adobe Presenter は、Acrobat® Connect™ Pro Server を補完するものです。Adobe Presenter を使用して、インタラクティブなクイズやアンケート、オーディオ、カスタマイズ可能なビューアを含むコンテンツを作成することができます。Adobe Presenter は、PPT または PPTX (PowerPoint) ファイル、PPCX ファイル、およびプレゼンテーションのデータとアセットを Adobe Connect Server に送信します。

注意： Office 2007 および 2010 は PPTX をサポートしています。

簡単なクイズや高度なクイズをプレゼンテーションに追加することができます。Adobe Presenter は、評価またはアンケートとして使用できる各種質問をサポートしています。クイズに岐を追加すると、クイズの回答を基にして、プレゼンテーション内で異なるパス経路で、ユーザーをガイドすることができます。

Adobe Presenter は、マイクを使ってプレゼンテーションにオーディオナレーションを追加するための簡単なインターフェイスを備えています。さらに、PowerPoint アニメーションをオーディオナレーションと簡単に同期させることができます。

Adobe Presenter は、直感的なインターフェイスを備え、PowerPoint と完全に統合されているので、追加のトレーニングや Flash のプログラミングに関する知識は必要ありません。オーディオ、ビデオ、マルチメディア、インタラクティブなクイズやアンケート、多くのメディアを追加することで、静的な PowerPoint ファイルを動的な Web プレゼンテーションに短時間で変えることができます。コンテンツの作成が終了したら、Adobe Connect Server にパブリッシュするだけです。（コンピューターにパブリッシュして、プレゼンテーションをテストすることもできます）。

Adobe Presenter をインストールした後、PowerPoint からこのプログラムにアクセスします。PowerPoint を開くと、メニューバーに「Adobe Presenter」という名前の新しいメニューが表示されます。

Presenter 9 で最新の情報を得るには、「Adobe Resources にアクセス」(「ツール」>) オプションを使用します。このオプションをクリックして、Adobe e-learning ニュースサーバーに接続します。「Adobe Resources にアクセス」ポップアップ画面に、Adobe e-learning チームからの最新情報がニュースフィードの形式で表示されます。任意のニュースフィード項目をクリックすると、完全な情報が表示されます。

「Adobe Resources にアクセス」ポップアップ画面の下部にあるさまざまなリンクを使用して、Adobe ブログおよびその他のソーシャルメディアチャンネルに接続します。更新情報がある場合は、強調表示された境界線に囲まれた番号が「Adobe Resources にアクセス」メニューに表示されます。ここでは、最近追加された新しいニュースフィード、ブログ投稿、ツイートの数が表示されます。

## お勧めのコンテンツ

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# プレゼンテーションでのオーディオ

プレゼンテーションでのオーディオの使用  
プレゼンテーションへのオーディオファイルの追加  
オーディオの録音  
オーディオ録音機器について  
オーディオの録音品質の設定  
オーディオの入力ソースの変更  
マイクの録音向けの最適化  
オーディオの録音方法  
プレゼンテーションの特定の場所でのオーディオの録音  
オーディオとアニメーションのタイミングの同期  
オーディオファイルの編集  
オーディオのプレ再生  
オーディオファイルへの無音部分の追加  
オーディオのボリュームの調整  
スライドノートの追加と書き出し  
スライドノートの読み込み  
オーディオクリップとファイルの管理

## プレゼンテーションでのオーディオの使用

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter では、ナレーション、音楽、手順ごとの説明など、あらゆる場面でサウンドをプロジェクトに加えることができます。オーディオを使用して、手順を示すことも、プレゼンテーションの重要点を強調することもできます。一般的に、サウンドは他のプレゼンテーションコンポーネントと同じように、個別にかつ柔軟に使用できます。

Adobe Presenter プレゼンテーションでは、様々な方法でオーディオを使用できます。例えば、Adobe Presenter を使用して次のような作業を実行できます。

- 個々のスライドにサウンドを追加する
- 正解と不正解を示す特別なサウンドをクイズに追加する

Adobe Presenter では、簡単な録音装置を使用して独自のオーディオファイルを録音することや、既存のファイルを読み込むことができます。録音したファイルは MP3 形式で保存されます。WAV または MP3 形式の既存のファイルを読み込むことができます。ステレオファイルはステレオとして、モノラルファイルはモノラルとして読み込まれます。

注意: WAV 形式で読み込まれたファイルは、プレゼンテーションがパブリッシュされる際に MP3 に変換されます。最終的にパブリッシュされるプレゼンテーションでは、MP3 ファイルのみが再生されます。

プレゼンテーションに含まれているオーディオファイルは、オーディオアセットフォルダー内に保存されます。PPCX ファイルには、オーディオファイルに関するメタデータが含まれています。PPC ファイルが含まれているプレゼンテーションは、PPCX に変換しないと、Adobe Presenter の機能を有効にすることができません。プレゼンテーションファイルやアセットフォルダーを移動またはコピーする場合は、必ずオーディオアセットフォルダーを含めてください（PPCX ファイルなしでオーディオアセットフォルダーをコピーまたは移動すると、問題が発生することがあります）。

プレゼンテーションにオーディオを追加した後で、アニメーションなどの他のコンテンツとタイミングを同期することができます。例えば、プレゼンテーションに「スライドイン」するテキストなどの PowerPoint アニメーションが含まれている場合、アニメーションとオーディオを同期することができます。（詳しくは、アニメーション、イメージおよび Flash (SWF) ファイルの追加）を参照してください。Adobe Presenter には、オーディオファイルに無音部分を追加する機能もあります。すべてのスライドのオーディオをノーマライズ（最適化）し、一貫したサウンドレベルを保つこともできます。

## プレゼンテーションへのオーディオファイルの追加

[トップへ戻る](#)

既存の WAV または MP3 形式のオーディオファイルをすぐにプレゼンテーションに追加することができます。簡単な操作でファイルを読み込んで、オープニングミュージック、ナレーション、説明または他の目的にも使用できます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「読み込み」をクリックします。
3. オーディオファイルを追加するスライドを選択します。
4. 「参照」をクリックし、スライドに追加するオーディオファイル（WAV または MP3）の場所に移動します。

5. 目的のオーディオファイルを選択して「開く」をクリックします。複数のファイルを追加できます。複数のオーディオファイルを選択した場合、手順 3 で選択したスライドに最初のファイルが追加され、すぐ次のスライドに 2 つめのファイルが追加されます（以下同様）。

注意： プレゼンテーション内の個々のスライドのオーディオは 100 分を超えないようにしてください。

6. (オプション) 「マーカーを無視」オプションを選択すると、オーディオファイル内に配置されたサウンドマーカーが無視されます。

---

## オーディオの録音

[トップへ戻る](#)

既存のオーディオファイルを追加するだけでなく、独自のオーディオファイルを録音して Adobe Presenter のプレゼンテーションで使用することができます。録音したファイルは MP3 形式で保存されます。高品質なオーディオを録音するためには、以下のヒントを参照してください。

### オーディオ機器の設定

必要なオーディオ録音機器を購入した後に、機器を適切に設定します。マイクのみを使用する場合は、マイクをコンピューターに接続して録音を開始します。また、マイクをミキサーまたはスタンドアローンのプリアンプに接続し、そのデバイスの出力をコンピューターのサウンドカードの「ライン入力」に接続することもできます。ヘッドフォンをコンピューターに接続します。その後、ミキサーまたはプリアンプのボリュームを設定します。ボリュームレベルをテストするために話し始め、注意深くボリュームを上げて、ボリュームが 0 より少し低くなるようにします（プリアンプとライン入力ソケットの使用はオプションです）。

### サウンドカードのオプションの設定

サウンドカードを制御するソフトウェアアプリケーションを開くことができます。ほとんどの Windows オペレーティングシステムでは、左下隅にある「スタート」をクリックして、設定/コントロールパネル/サウンドを選択すると、サウンドの設定を表示できます。録音ソース（ライン入力）を選択するときに、ボリュームを 100% に調整することができます。ミキサーまたはスタンドアローンのプリアンプを使用している場合は、それらから実際の録音レベルを制御できます。

### オーディオの録音の設定の変更

オーディオ録音ソフトウェアを起動した後で、必要に応じて設定を変更することができます。ミキサーおよびプリアンプにはサウンドレベル制御がないため、録音時はメーターを確認します。録音中は、メーターが 0 を超えていないか、またはサウンドに歪みがないかを確認します。

### マイクの設置

マイクを正しく設置すると、完成したオーディオファイルの品質に大きな違いが生じます。まず、マイクをできる限り近づけ（約 10 ~ 15 cm 以内）、雑音は録音されないようにします。マイクを口より下に設置してうつむいて話すことは避けます。鼻の上から口を指すように、マイクを下に向けて設置します。最後に、さ行およびば行の音を和らげるために、マイクを口の正面から横へわずかにずらします。

### マイク関連のテクニック

口が乾くことがないように、コップに 1 杯の水を用意します。録音を開始する前に、マイクから顔を背け、何回か深呼吸し、口を開けてからマイクに向かって話し始めます。そうすることで、オーディオトラックの初めによく録音されることがある、呼吸音および唇の音が解消されます。ゆっくりと注意深く話します。不自然なくらいゆっくり話していると感じる場合がありますが、速度は録音ソフトウェアを使用して後で調整することができます。最初からすべてを正しく録音する必要はありません。後で録音を聞いて評価し、必要に応じて再録音できます。

### サウンドの編集

サウンドの編集はテキストの編集と同様です。注意深く録音を聞き、不要なサウンドを削除し、ソフトウェアで使用可能なオプションを使用してトラックを仕上げます。必要な音楽やサウンド効果を追加しますが、オーディオトラックは適正な形式（MP3 または WAV）で保存する必要があります。

### プレゼンテーションの確認

プレゼンテーションにオーディオを追加した後、もう一度聞いてみます。最後に、他の人にプレゼンテーションファイルのプレビューを確認してもらうと効果的です。必要に応じて、スライドごとにオーディオを再編集することができます。

---

## オーディオ録音機器について

[トップへ戻る](#)

適切なオーディオ録音機器を使用すると、高品質なオーディオデータを作成することができます。驚いたことには、基本的なオーディオ機器は比較的低価格です。オーディオ機器は、次のすべての機能を備えているかまたは少なくともいくつかの機能を備えています。

サウンドカードを備えたコンピューター コンピューターに装備されたサウンドカードは、オーディオのデジタルレコーダーの役割を果たします。

マイク 可能であれば、ほとんどのコンピューターに付属している内蔵マイクは使用しないでください。録音中は、高度な音質を実現するマイクケーブルを使用し、スタンドを使用してマイクを固定します。

マイクのプリアンプ プリアンプはマイクの信号を増幅します。おそらく、ご使用のコンピューターのサウンドカードのマイク入力にもプリアンプが含まれていますが、良質のものではない場合がほとんどです。プリアンプをご購入になるときは、小さいミキサーまたはスタンドアローンのバージョンを選択することができます。ミキサーを使用すると、複数のマイクまたはデバイスを 1 か所に接続し、それぞれのボリュームを個々に調整することができます。スタンドアローンプリアンプは、雑音を防止できる面で、ミキサーより優れていると考えられます。

スピーカー ご使用のコンピューターに付属しているスピーカーで、録音したオーディオを十分な品質で聴くことができます。最良の結果を得るために、スピーカーの仕様をチェックし、最高品質のスピーカーを使用してください。

Microsoft Windows オペレーティングシステムでは、通常、左下角にある「スタート」をクリックして、設定／コントロールパネル／サウンドを選択すると、スピーカー（サウンド）の設定を表示できます。

録音ソフトウェア Adobe Audition® など、さまざまな録音ソフトウェアを使用できます。ソフトウェアの重要な機能には、言い間違いなどを訂正する編集機能、音楽およびサウンド効果のオプション、そして必要なファイル形式（MP3 または WAV など）で作成できる機能などが含まれます。

録音する環境 録音するには、静かな場所が必要です。ドアを閉め、不要なコンピューター機器の電源を切り、雑音を出す可能性がある照明を消し、電話、ポケットベルや携帯電話の呼び出し音を切ります。また、録音が進行中であることを同僚に知らせます。

## オーディオの録音品質の設定

[トップへ戻る](#)

オーディオファイルには、サイズに対する質のバランスという、共通の課題があります。サウンドの質を高くすると、ファイルサイズが大きくなります。オーディオを処理する場合は、ユーザーの接続速度を考慮する必要があります。より良いプレゼンテーションにするには、ユーザーに提供するムービーの音質とファイルサイズの最適なバランスを見つけるために、いろいろと試してみることが重要です。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「品質」をクリックします。
4. オーディオの品質レベルを選択します。音質を高くすると、オーディオファイルのサイズが大きくなることに留意します。

CD 品質（ステレオまたはモノラル） 最大 128 Kbps のビットレート、44 Khz のサンプリング周波数

ほぼ CD 品質（ステレオまたはモノラル） 最大 112 Kbps のビットレート、44 Khz のサンプリング周波数

FM 品質（ステレオ） 最大 64 Kbps のビットレート、44 Khz のサンプリング周波数

低帯域幅（モノラル） 最大 32 Kbps のビットレート、22 Khz のサンプリング周波数

5. （オプション）プレゼンテーションの連続したスライドに SWF ファイルが含まれている場合は、「埋め込まれた Flash コンテンツをプリロードしない」を選択します。このオプションを選択すると、最初の SWF ファイルの再生が完了するまで、2 番目の SWF ファイルの再生は開始されません。

注意： オーディオファイルを含めずにプレゼンテーションをパブリッシュするには、「オーディオをパブリッシュ」の選択を解除します。

6. 「OK」をクリックします。

## オーディオの入力ソースの変更

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションのオーディオを録音する場合は、テープレコーダーやステレオアンプなどの外部オーディオ装置に通常装備されているマイクまたはライン入力オプションを使用できます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のアプリケーションメニューで、「オーディオソース」をクリックします。
4. 「オーディオ入力ソース」領域で、「マイク」または「ライン入力」を選択します。
5. （オプション）各録音セッションの前にマイクを測定する場合は、「毎回、録音の前にマイクのレベル設定をする」オプションを選択します。マイクの最適化は、異なるマイクを使用する場合や、異なる環境（例えば、静かな部屋と騒音のある場所）で録音する場合に役に立ちます。
6. 「OK」をクリックします。

## マイクの録音向けの最適化

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションのオーディオを録音する場合は、マイクや録音デバイスを適切な録音レベルに設定する必要があります。これは、録音デバイスの最適化と呼ばれます。Adobe Presenter では、自動的に適切なマイクレベルを設定して録音感度を調整できます。

録音デバイスを最適化するには、Adobe Presenter がそのデバイスを認識する必要があります。最適化を行う前に、録音デバイスがコンピューターに適切に接続され、オンになっていることを確認してください。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「録音」をクリックします。
3. 適切な録音デバイスレベルを設定するには、赤い記録ウィンドウが緑になるまで、マイクに向かって次の文章を読み上げます。「Adobe Presenter で使用するマイクの録音レベルを設定しています。」
4. 選択が完了したら、「OK」をクリックします。

## オーディオの録音方法

コンピューターにマイクが接続されていれば、スライドに含めるオーディオを録音できます。様々なナレーションや指示に、オーディオを使用できます。

Adobe Presenter 8 および Adobe Presenter 8 アップデートでは、ユーザーインターフェイスや手順が異なります。（サブスクリプションおよび Adobe Software Assurance のお客様のみ）

Adobe Presenter 8 では、次の操作を行います：

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「録音」をクリックします。
3. 事前にマイクや録音デバイスを最適化しなかった場合は、画面上の指示に従って最適化を行います。最適化をスキップするには、「スキップ」をクリックします。  
Adobe Presenter - オーディオの録音ダイアログボックスが表示されます。
4. オーディオの録音アイコン ( ) をクリックして録音を開始します。
5. マイクまたは録音デバイスに向かって話します。
6. 「前へ」または「次へ」をクリックして、別のスライドのオーディオを録音します。
7. 完了したら、「録音の停止」をクリックします。Adobe Presenter がオーディオを MP3 形式に変換します。
8. 「再生」をクリックして、録音を聞きます。
9. 完了したら、「保存」をクリックしてから「閉じる」をクリックします。

Adobe Presenter 8 アップデートでは（サブスクリプションおよび Adobe Software Assurance のお客様のみ）、次の操作を行います：

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「録音」をクリックします。
3. 事前にマイクや録音デバイスを最適化しなかった場合は、画面上の指示に従って最適化を行います。最適化をスキップするには、「スキップ」をクリックします。  
Adobe Presenter - オーディオの録音ダイアログボックスが表示されます。



オーディオを録音ダイアログボックス

4.  をクリックして録音を開始します。
5. マイクまたは録音デバイスに向かって話します。
6.  をクリックして次のスライドのオーディオを録音します。



オーディオを録音ダイアログボックス。録音する次のオブジェクトはスライドです。

現在のスライドにアニメーションが含まれる場合は、クリックしてオーディオを録音するか、オーディオとアニメーションと同期させます。



オーディオを録音ダイアログボックス。録音する次のオブジェクトはアニメーションです。

録音する次の使用可能なオブジェクトが次のスライドの場合は、▶ が ▶▶ に置き換えられます。

録音中の任意のタイミングで ⏸ をクリックして一時停止します。▶▶ をクリックして録音を再開します。

7. ナレーションが完了したら、□ をクリックして録音を停止します。録音したオーディオを再生するには、▶▶ をクリックします。
8. 「保存」をクリックして録音を保存します。Adobe Presenter がオーディオを MP3 形式に変換します。  
録音をキャンセルするには、「破棄」をクリックします。



9. X をクリックして、オーディオを録音ダイアログボックスを閉じます。

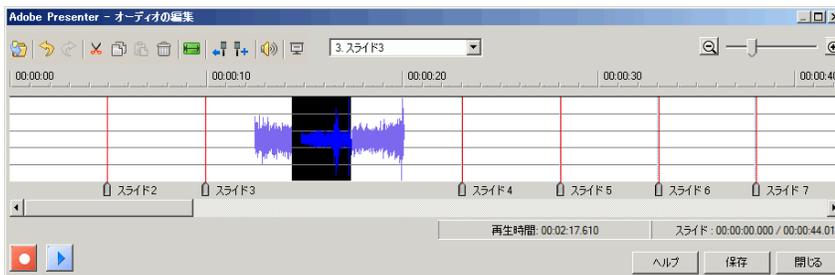
## プレゼンテーションの特定の場所でのオーディオの録音

[トップへ戻る](#)

オーディオを録音して、プレゼンテーション内の特定の場所に追加する必要がある場合があります。オーディオを録音するには、マイクまたは録音デバイスがコンピューターに接続されている必要があります。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「編集」をクリックします。
3. 録音した新しいオーディオを追加する波形内の場所をクリックします。例えば、スライド 1 で再生されるオーディオファイルがあり、先頭にオーディオを追加する必要がある場合は、スライド 1 のオーディオファイルの先頭部分をクリックします。オーディオは、現在オーディオがない場所であっても、波形上の任意の場所に追加できます。

波形で正確なポイントを探すには、録音する適切なポイントでクリックし、「再生」アイコンをクリックします、新しいオーディオを追加するポイントに到達したら、「一時停止」をクリックします。



オーディオを編集ダイアログボックスを使用した録音済みオーディオの追加

4. 「録音」アイコン (🔴) をクリックします。Adobe Presenter - 録音ダイアログボックスが表示されます。



追加オーディオの録音

5. 事前にマイクや録音デバイスを最適化しなかった場合は、「キャリブレーション」をクリックし、表示されるサンプルメッセージを録音し、ステータスが緑色になったら「OK」をクリックします。
6. 録音を開始するには、Adobe Presenter - 録音ダイアログボックスの 🔴 をクリックして話し始めます。
7. □ をクリックして、録音を終了します。
8. 録音を聞くには、「再生」▶▶ をクリックします。
9. 「OK」をクリックします。録音したオーディオが、波形上の指定した場所に追加されます。

## オーディオとアニメーションのタイミングの同期

プレゼンテーションのプレビューを表示した後で、追加したオーディオファイルとより効果的に同期されるように PowerPoint アニメーションのタイミングを編集できます。例えば、スライドインするブレット付きのテキスト項目を含むスライドがある場合、オーディオトラックとアニメーションテキストの動きが一致するようにタイミングを調整することができます。

注意：「オーディオの同期」ダイアログボックスで同期させることができるのは、PowerPoint の「クリック時」アニメーションだけです。これに対し、時間指定されたアニメーションでは、PowerPoint の「アニメーションの設定」ダイアログボックスで設定されたタイミングを使用します。アニメーションを同期させることができるのはオーディオファイルだけです。ビデオファイルとは同期できません。

Adobe Presenter 8 および Adobe Presenter 8 アップデートでは、ユーザーインターフェイスが異なります。（サブスクリプションおよび Adobe Software Assurance のお客様のみ）

Adobe Presenter 8 では、次の操作を行います：

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「同期」をクリックします。
3. 「オーディオの同期」ダイアログボックスで、必要に応じて「前へ」または「次へ」をクリックし、タイミングを調整するスライドに移動します。
4. 「タイミングを変更」をクリックしてオーディオを再生します。
5. オーディオを再生しながら、「アニメーション」矢印をクリックしてアニメーションのタイミングをオーディオと同期させます。スライドに他のアニメーションが含まれる場合は、「アニメーション」矢印が「オーディオの同期」ダイアログボックスにもう一度表示されます。「タイミングを変更」アイコンをもう一度クリックして、「アニメーション」矢印をクリックしてタイミングを同期させます。スライドのすべてのアニメーションについてこの手順を繰り返します。
6. 操作が完了し、オーディオの再生が停止したら、[再生] をクリックして、新しいタイミングでスライドとアニメーションを表示します。望ましい結果にならない場合は、手順 4 と 5 を再度繰り返します。
7. 「OK」をクリックします。

Adobe Presenter 8 アップデートでは（サブスクリプションおよび Adobe Software Assurance のお客様のみ）、次の操作を行います：

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「同期」をクリックします。
3. オーディオの同期ダイアログボックスで、 をクリックしてオーディオの再生と同期を開始します。



オーディオの同期ダイアログボックス

4. 手順のテキスト
5. オーディオを再生しながら、「アニメーション」矢印をクリックしてアニメーションのタイミングをオーディオと同期させます。スライドに他のアニメーションが含まれる場合は、「アニメーション」矢印が「オーディオの同期」ダイアログボックスにもう一度表示されます。 をもう一度クリックして「アニメーション」矢印をクリックし、タイミングを同期します。スライドのすべてのアニメーションについてこの手順を繰り返します。



オーディオとアニメーションの同期

6. 操作が完了し、オーディオの再生が停止したら、「再生」 をクリックして、新しいタイミングでスライドとアニメーションを表示します。望ましい結果にならない場合は、手順 3 と 4 を再度繰り返します。

7. 「保存」をクリックして変更を保存します。

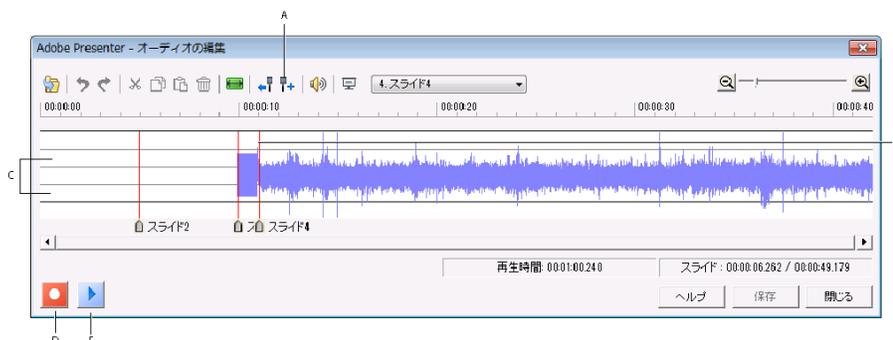


オーディオ同期に対する変更の保存または破棄

## オーディオファイルの編集

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションのオーディオはいつでも変更できます。オーディオファイルの再生、無音部分の挿入、ボリュームの調整および他のオプションの変更を行うことができます。



プレゼンテーション用に録音したオーディオファイルの編集やプレゼンテーションの読み込みは、オーディオエディタで行います。  
A. 挿入マーカー B. スライドデバイダと赤いマーカーライン C. 波形 D. オーディオの録音ボタン E. オーディオの再生 / 一時停止ボタン

1. PowerPoint で、オーディオファイルが含まれるプレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「編集」をクリックします。
3. ボタンとメニューオプションを使用して、必要な編集を行います。オーディオファイルの一部を切り取ってペーストする、無音部分を挿入してオーディオファイルを長くする、ボリュームを調整する、別のオーディオファイルを読み込むなどを行うことができます。

**カット** オーディオファイルの選択した部分をカットします。

**コピー** オーディオファイルの選択した部分をコピーします。

**ペースト** クリップボードから情報をペーストします。（例えば、オーディオファイルの一部を選択して、「カット」または「コピー」をクリックすると、Adobe Presenter は選択したオーディオをクリップボードに格納します。）その後で、「ペースト」をクリックして、オーディオをオーディオファイル内の任意の場所に配置することができます。

**削除** オーディオファイルの選択した部分を削除します。

**取り消し** 直前の操作を取り消します。

**やり直し** 直前の操作をやり直します。

**ズーム** 波形を拡大または縮小します。

**上書き録音 / 録音の挿入** オーディオの録音を開始します。マイクが必要です。

**再生** オーディオファイルの再生を開始します。

**一時停止** スライドの再生を一時停止します。オーディオファイルの再生を再開するには「再生」をクリックします。

**停止** オーディオファイルの再生を終了します。

**再生ヘッド** 個々のスライド内の波形上の選択した場所（秒単位）を示します。例えば、長さが 5 秒のスライドを使用しているときに波形上でスライドの中心をクリックした場合、この再生ヘッド領域に約 00:00:02.500 と表示されます。

**選択範囲** 波形上で期間を選択していない場合はプレゼンテーションの合計再生時間を示します。波形上で期間を選択している場合は、この領域に選択した時間の長さが表示されます。

4. オーディオファイルの編集が完了したら、「保存」をクリックします。

## オーディオのプレ再生

プレゼンテーションに追加したオーディオを聞く簡単な方法は、オーディオを編集ダイアログボックスで直接スライドショーを再生することです。オーディオを編集ダイアログボックスの  をクリックし、次に「再生」 () をクリックします。

## オーディオファイルへの無音部分の追加

Adobe Presenter プレゼンテーションに含まれる任意のオーディオファイルに無音部分を追加することができます。この機能は、次のような状況で役に立ちます。

- オーディオファイルを読み込み、オーディオをスライドと同期する必要がある場合
- オーディオの大幅な編集を行わずに、既存のオーディオをファイルをプレゼンテーションで使用する必要がある場合
- スピーカーのサイドバーアニメーションなどのオーディオ付きの FLV ファイルをプレゼンテーションに挿入し、その FLV ファイルのオーディオをスライドと同期する必要がある場合

1. PowerPoint で、オーディオファイルが含まれるプレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「編集」をクリックします。
3. プレゼンテーション内の場所またはオーディオファイル内の特定の場所で、無音部分を追加する波形の上をクリックします。
4. ドキュメントウィンドウの .
5. 無音を挿入ダイアログボックスに、無音部分の長さを指定する数値 (秒数) を入力します。
6. 「位置」テキストボックスに、無音部分を追加する位置を次のように指定します。

カーソル位置 (デフォルト) このオプションは、手順 3 で選択した波形内の位置に無音部分を追加します。

スライドの最初 このオプションは、手順 3 で選択した場所を含むスライドの初めに無音部分を追加します。

スライドの最後 このオプションは、手順 3 で選択した場所を含むスライドの終わりに無音部分を追加します。

7. 「OK」をクリックします。

Adobe Presenter によって、オーディオファイルに無音部分が追加され、波形上に無音部分が表示されます。

8. 無音部分を追加したオーディオファイルをテストするには、オーディオを編集ダイアログボックスの左下隅にある「再生」をクリックします。

## オーディオのボリュームの調整

プレゼンテーションに含まれているオーディオファイルのボリュームを調整することができます。ボリュームを調整した後で、プレゼンテーションのプレビューを表示し、適正なサウンドレベルになっているかどうかを確認します。

1. PowerPoint で、オーディオファイルが含まれるプレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「編集」をクリックします。
3. オーディオを編集ダイアログボックスの  をクリックします。
4. 音量調節ダイアログボックスで、左側にあるボリュームスライダーをクリックし、上にドラッグしてボリュームを上げるか、下にドラッグしてボリュームを下げます。
5. 次のようにオーディオ処理オプションを変更することができます。

ノーマライズ サウンドのボリュームを自動的に調整します。オーディオをノーマライズすると、複数のスライドで一定のサウンドレベルを維持することができます。

強弱 オーディオのボリュームの小さい部分を増幅し、ボリュームのばらつきを補います。

6. 「OK」をクリックします。

7. オーディオファイルの編集が完了したら、「閉じる」  をクリックします。

## スライドノートの追加と書き出し

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「同期」をクリックします。
3. オーディオの同期ダイアログボックスで、スクリプトを表示アイコン () をクリックします。
4. 「ここをクリックしてこのスライドのスクリプトを入力します」の領域内をクリックし、スライドノートを入力します。

PowerPoint で入力したスライドノートを読み込むこともできます。

Adobe Presenter に追加したスライドノートを PowerPoint に書き出すことができます（オーディオの同期ダイアログボックスの「更新」をクリック）。

## スライドノートの読み込み

[トップへ戻る](#)

PowerPoint でスライドノートを作成した場合は、そのノートを「オーディオを録音」ダイアログボックスまたは「オーディオの同期」ダイアログボックスのスピーチ原稿ウィンドウに読み込むことができます。ノートの読み込みは、オーディオファイルをナレーションとして録音するときにスライドノートをスピーチ原稿として使用する場合に役に立ちます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「同期」をクリックします。
3. オーディオの同期ダイアログボックスで、スクリプトを表示アイコン (📄) をクリックします。
4. 「読み込み」をクリックします。
5. 読み込むスライドノートを選択します。現在のスライド、すべてのスライドまたは特定のスライドのスピーチ原稿を選択することができます。
6. 読み込みオプションを選択します。ノートを PowerPoint の既存のノートに追加（ノートテキストを PowerPoint の既存のノートの全テキストの末尾に追加）するか、または既存のスピーチ原稿を PowerPoint から読み込んだノートで置き換えることができます。
7. 「OK」をクリックし、次にオーディオの同期ダイアログボックスの「閉じる」をクリックします。

## オーディオクリップとファイルの管理

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter では、オーディオファイルを録音、または読み込んだ後に、タイミングを編集することができます。オーディオファイルのタイミングを制御できると、様々な長さのオーディオファイルを使うことができるようになり、プレゼンテーションへオーディオをスムーズに組み入れることができます。

オーディオファイルを録音した後、または読み込んだ後、オーディオを編集ダイアログボックスに、ファイルが波形で表示されます。複数のオーディオファイルを含むプレゼンテーションの場合、どのオーディオファイルが特定のスライドに割り当てられているかを見ることができます。

### オーディオのタイミングの編集

1. PowerPoint で、オーディオファイルが含まれるプレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「オーディオ」グループで「編集」をクリックします。

オーディオを編集ダイアログボックスで、Adobe Presenter はプレゼンテーションに組み込まれているすべてのオーディオファイルを波形で表示します。波形の下に表示されるスライド番号は、オーディオファイルが現在どのように複数のスライドに配分されているかを正確に示しています。Adobe Presenter では、オーディオファイルを読み込むか作成し、そのオーディオファイルを複数のスライドに配分することができます。

### オーディオファイルのスライドへの配分方法の変更

- オーディオを編集ダイアログボックスで、赤いスライドマーカーラインをクリックし、デバイダーを左または右にスライドさせます。

波形は静止したままですが、プレゼンテーション内でオーディオファイルの再生を開始する場所を変更することができます。長いオーディオファイルを 1 枚のスライドに割り当てるか、または複数のスライドにわたって再生するかを試す場合に、このオプションは便利です。

### オーディオナレーション中の特定のスライドへのジャンプ

オーディオのナレーション中に、他のスライドのコンテンツを説明または提示する必要がある場合があります。このような場合、スライドに移動マーカーを使用して必要なスライドにジャンプすることができます。

1. オーディオを編集ダイアログボックス（Adobe Presenter / オーディオグループ / 編集）で、「再生」をクリックしてオーディオを再生します。
2. 必要なスライドへジャンプするポイントでオーディオを一時停止します。
3. 「マーカーを挿入」 (I+) をクリックします。
4. マーカーの種類リストで、「スライドに移動」をクリックし、「OK」をクリックします。

### オーディオナレーション中のプレゼンテーションの一時停止

プレゼンテーションを特定のポイントで自動的に停止し、再生バーの「再生」をクリックして続行を待つようにする場合は、次の操作を行います。

1. オーディオを編集ダイアログボックス（Adobe Presenter / オーディオグループ / 編集）で、「再生」をクリックしてオーディオを再生します。
2. 必要なスライドへジャンプするポイントでオーディオを一時停止します。

3. 「マーカーを挿入」  をクリックします。
4. マーカーの種類リストで、「ユーザーの指示を待つ」をクリックし、「OK」をクリックします。

### オーディオファイルの試聴

- オーディオを編集ダイアログボックスで、波形内の場所をクリックし、ダイアログボックスの左下隅にある「再生」をクリックするか、キーボードのスペースバーを押します。

選択した場所からプレゼンテーション内にあるすべてのオーディオの最後まで、オーディオが再生されます。（オーディオを編集ダイアログボックスの左下隅にある「停止」をクリックするか、キーボードのスペースバーを押すことで、いつでも再生を停止することができます。）

### 波形の一部領域の拡大

- オーディオを編集ダイアログボックスで波形をクリックし、ツールバーの「ズームイン」  または「ズームアウト」  をクリックします。別の方法では、波形をクリックし、マウスホイールを使ってズームインおよびズームアウトします。

ダイアログボックスの右下角にある「拡大縮小」情報欄には、現在見ている波形の拡大縮小率が表示されます。

オーディオファイルプレゼンテーションに追加した後で、オーディオを編集ダイアログボックスを使用して、オーディオファイル全体またはオーディオファイルの一部を切り取るかコピーして、別の場所にペーストすることができます。

### オーディオのカットまたはコピーとペースト

- オーディオを編集ダイアログボックスで、波形上でオーディオファイルのセクションを直接選択し、「カット」  または「コピー」  をクリックします。その後、波形上の別の場所をクリックしてから、「ペースト」  をクリックします。

### オーディオファイル全体またはオーディオファイルの一部の削除

- オーディオを編集ダイアログボックスで、波形上でオーディオファイルを直接選択し、「削除」をクリックします。

### お勧めのコンテンツ

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# プレゼンテーションの作成

---

[Adobe Presenter の使い方トピック](#)  
[Adobe Presenter でのプレゼンテーションの作成](#)  
[Adobe Presenter のワークスペース](#)  
[プレゼンテーションの要素](#)  
[プレゼンテーションの計画方法](#)  
[Adobe Presenter のベストプラクティス](#)  
[Adobe Presenter プレゼンテーションの作成](#)  
[プレゼンテーションのプレビュー](#)

---

## Adobe Presenter の使い方トピック

[トップへ戻る](#)

- [Adobe Presenter プレゼンテーションの作成](#)
- [プレゼンテーションのプレビュー](#)
- [スライドのプロパティの変更](#)
- [プレゼンターの追加と編集](#)
- [添付ファイルの追加と編集](#)
- [プレゼンテーションへのオーディオファイルの追加](#)
- [オーディオの録音方法](#)
- [ビデオの読み込み](#)
- [クイズと質問の追加](#)
- [テーマの作成および編集](#)
- [Adobe Connect Server へのパブリッシュ](#)

---

## Adobe Presenter でのプレゼンテーションの作成

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter を使用すると、次の 3 つの手順で、インパクトのある洗練されたプレゼンテーションや e ラーニングコンテンツをすばやく簡単に作成することができます。

プレゼンテーションをデザインします。

PowerPoint 内で Adobe Presenter を使用し、以下のような作業が可能です。

- プレゼンテーションを新規作成する時間と労力を節減するために、Adobe Presenter プレゼンテーションのベースとして既存の PowerPoint プレゼンテーションを使用します。
- ほとんどの PowerPoint アニメーションの完全なサポートを含む PowerPoint の的確な変換を高速に実行します。
- 会社のロゴ、カラー、Adobe Presenter の経歴と写真を追加して、プレゼンテーションビューアのインターフェイスの外観をカスタマイズできます。

プレゼンテーションの編集

Adobe Presenter を使用すると、次のような方法でニーズに合わせてプレゼンテーションを変更できます。

- マルチメディアを使用して PowerPoint プレゼンテーションの効果を向上させます。オーディオ（音声ナレーションなど）やビデオを取り入れたマルチメディア、およびクイズやアンケートを PowerPoint 内で追加できます。
- 事前に録音したオーディオをプレゼンテーションに読み込み、そのオーディオと PowerPoint スライドアニメーションを同期させます。

プレゼンテーションのパブリッシュ

プレゼンテーションをパブリッシュすると、ユーザーはプレゼンテーションを閲覧することができます。Adobe Presenter には次の機能があります。

- Adobe Presenter は、Connect Pro Training、Connect Pro Meetings などのすべての Connect Pro Central アプリケーション、および Adobe

Captivate、SWF、FLV ファイルと密接に統合されています。

- インタラクティブな Adobe Presenter ビューアでプレゼンテーションを表示します。
- Adobe Presenter コンテンツが学習管理システム (LMS) と統合されています。Adobe Presenter では、SCORM および AICC に準拠したコンテンツが作成されます。

---

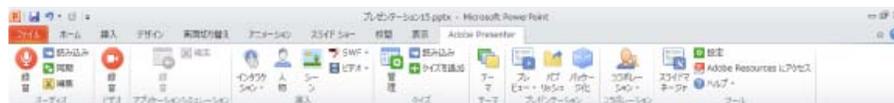
## Adobe Presenter のワークスペース

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter には、作成者がコンテンツを作成してユーザーに配信できるようにするために連携して機能する次の 2 つのコンポーネントがあります。

Adobe Presenter 作成者はこれを使用してコンテンツを作成できます。

Adobe Presenter ビューア ユーザーはこれを使用して、変換された Adobe Presenter プレゼンテーションを表示および操作することができます。コンテンツ作成者は、PowerPoint の Adobe Presenter リボンから Adobe Presenter のすべての機能にアクセスすることができます。



PowerPoint の Adobe Presenter リボンにあるプレゼンテーションデザイン用のオプション

---

## プレゼンテーションの要素

[トップへ戻る](#)

計画を立てるときには、次に示した要素をプレゼンテーションに追加することを検討します。

**タイトルスライド** タイトルスライドは、通常、プレゼンテーションの最初または 2 番目のスライドで、コンテンツの主題を説明します。

**Adobe Presenter の情報** Adobe Presenter またはプレゼンターの名前、タイトル、写真、お問い合わせおよび簡単な経歴を含めます。

**カスタムロゴ** 会社または組織のロゴを追加して、ブランドイメージを追加し、個性的なプレゼンテーションにします。

**著作権情報** 情報の長さに応じて、プレゼンテーションの最初または最後に著作権情報が含まれます。著作権情報のみが含まれる別のスライドを追加することもできます。

**最初のスライドと最後のスライド** 特徴的な最初と最後のスライドを作成し、プレゼンテーションの始まり、中間および終わりをユーザーに明確に示します。一連のプレゼンテーションで同じ最初と最後のスライドを使用すると、プロフェッショナルな品質でデザインを統一することができます。

**セクション区切りのスライド** プレゼンテーション内のセクションを区切るには、区切りのスライドを使用します。区切りのスライドは、長いプレゼンテーションでは特に便利です。

**サウンド** 音声ナレーション、音楽またはサウンド効果により、プレゼンテーションに新たな効果を追加することができます。

**クイズ** ユーザーがプレゼンテーションについての質問に答えることができるようにして、学習の進行状況の追跡または情報の取得 (アンケート) を行います。

**添付ファイル** プレゼンテーションの補助コンテンツとして既存の情報を追加します。ドキュメント、スプレッドシート、Web ページへのリンクおよびイメージを添付ファイルとして含めることができます。

---

## プレゼンテーションの計画方法

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションを作成する前に、計画しておくくと便利です。そのプレゼンテーションでユーザーに学んでほしいことを、第一に考えます。最初にこの目標を定義すると、成功につながる包括的な計画を作成することができます。プレゼンテーションの目標を定義したら、既存の PowerPoint プレゼンテーションを使用し、効果的な Adobe Presenter のオプションを使用して、そのプレゼンテーションの効果を向上させることができます。

プレゼンテーションをデザインします。

ストーリーボードや原稿など、プレゼンテーションの整理に役立つ資料を使用して行います。プレゼンテーションにどのような要素を含めるかを考えます (詳しくは、[プレゼンテーションの要素](#)を参照してください。)

PowerPoint を開始します。

既存の PowerPoint プレゼンテーションを開くか、新しいプレゼンテーションを作成します。

ナレーションおよびその他の特別な要素を組み込みます。

PowerPoint の Presenter リボンから、オーディオナレーション、クイズ、ナレーション付きビデオ、Adobe Presenter 情報および他のオプション

をプレゼンテーションに追加します。Web ページやドキュメントなどの添付ファイルを追加したり、各プレゼンテーションのテーマ（プレゼンテーションビューアの外觀）をカスタマイズしたりします。

プレゼンテーションをプレビューします。

プレゼンテーションの一部または全体のプレビューによって、プレゼンテーションの出力がどのように見えるかをテストします。

プレゼンテーションをパブリッシュします。

プレゼンテーションを Adobe Connect Server にパブリッシュします。プレゼンテーションを CD に書き込むか、サードパーティ製の FTP ソフトウェアを使用してプレゼンテーションを Web にアップロードすることもできます。

---

## Adobe Presenter のベストプラクティス

[トップへ戻る](#)

アドビ システムズ社では、プレゼンテーションの作成に際して次に示したベストプラクティスを推奨しています。

- 視聴者の使用する帯域幅を基にしてオンラインプレゼンテーションをデザインします。視聴者が高速なブロードバンド接続を使用している場合、多数のアニメーションを含むグラフィック中心のプレゼンテーションを作成できます。ただし、視聴者の接続速度が遅い場合、アニメーションではなくグラフィックイメージのみにするか、グラフィックをまったく使用しないことも考慮します。そうすることで、視聴者が見やすくなります。Adobe Presenter では、イメージやオーディオファイルの品質レベルを下げて、帯域幅が狭い視聴者に適したコンテンツを作成することもできます。
- プレゼンテーション用のオーディオを録音する前に、原稿を作成することを検討してください。マイクに向かって話すという行為は、目の前の視聴者に向かってプレゼンテーションするよりも困難です。要点をすべて押さえて円滑に伝達するために、オーディオを録音する前に、プレゼンテーション全体のスピーチ原稿を作成してください。PowerPoint で作成したスライドノートがある場合は、それらを簡単に Adobe Presenter に読み込むことができます。
- 視聴者の接続速度が速い場合、アニメーションを追加することによってプレゼンテーション全体の質を向上させることができます。Adobe Presenter は PowerPoint アニメーションをサポートしているので、印象的なアニメーションを含んだマルチメディアプレゼンテーションを作成することができます。アニメーションを加えることにより、メッセージが魅力的になり、ユーザーに対するプレゼンテーション全体の印象が向上します。
- プレゼンテーションスライドやサイドバーにビデオを追加して、既存の情報を再利用します。視聴者の帯域幅が広い場合は、ビデオが適しています。
- 管理可能なサイズのプレゼンテーションを作成します。通常、1 つの PowerPoint プレゼンテーションは 1 つのモジュールまたはコースに対応しています。1 つのモジュールには 20 ～ 40 枚のスライドが含まれ、15 ～ 45 分のユーザー向けセッションになります。
- プレゼンテーションを Adobe Connect Server にパブリッシュする前にローカルでパブリッシュして、プレゼンテーションのプレビューを表示します。プレビューによって、変換後のプレゼンテーションを参照し、条件に合っているかどうかを確認できます。
- ユーザーが簡単に任意のスライドを表示できるようにスライドタイトルを作成します。プレゼンテーションをパブリッシュする前に、グラフィックのみのスライドも含めすべてのスライドのタイトルが PowerPoint アウトラインに表示されることを確認してください。

---

## Adobe Presenter プレゼンテーションの作成

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter プレゼンテーションは、常に PowerPoint プレゼンテーションを基にして作成します。新しいプレゼンテーションを開始するには、既存の PowerPoint プレゼンテーションを開くか、または新しいプレゼンテーションを作成した後、Adobe Presenter 特有の機能を追加します。これらの機能の追加方法について詳しくは、適切な節を参照してください。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開くか、ファイル／新規作成を選択してプレゼンテーションを新規作成します。
  2. Adobe Presenter リボンからプレゼンテーションに追加する Adobe Presenter の機能を選択します。パブリッシュする前にプレゼンテーションに変更を加えることは必須ではありません。しかし、オーディオナレーション、ビデオファイル、SWF ファイル、クイズなどの Adobe Presenter の機能を追加すると、プレゼンテーションの効果が向上し、また Adobe Presenter で使用できる機能を試すことができます。
  3. プレゼンテーションを使用中のコンピューターにローカルでパブリッシュし、プレビューを表示します。
  4. プレビュー後に必要があれば、手順 2 に戻って、プレゼンテーションを編集します。
  5. 作業が終了したら、プレゼンテーションを Adobe Connect Server にパブリッシュします。
1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
  2. Adobe Presenter／ヘルプ／Adobe Presenter 5.x と 6.x に書き出しを選択します。
1. PowerPoint で、Articulate Presenter で作成されたプレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
  2. 変換ダイアログボックスで [はい] をクリックします。
  3. 変換したプレゼンテーションの名前と保存先を選択します。
  4. (オプション) 変換ログファイルの情報を表示するには、[ログの表示] をクリックします (また、いつでも Windows エクスプローラを使用してログファイルを表示できます。手順 3 で指定した場所に移動し、ConversionLog.log ファイルを右クリックして、[プログラムから開く]-[Notepad] を選択します)。
  5. 変換処理が完了したら、[閉じる] をクリックします。

6. Adobe Presenter で、変換された新しいファイルを編集し、必要に応じて Adobe Presenter 機能を追加します。

---

## プレゼンテーションのプレビュー

[トップへ戻る](#)

プレビューを表示すると、プレゼンテーションがユーザーにどのように見えるかを簡単に確認できます。作業を確認したい場合は、プレゼンテーショングループの「プレビュー」オプションを使用して、いつでもプレゼンテーションのプレビューを表示することができます。

プレゼンテーションをプレビューすると、プレゼンテーションがデフォルトの Web ブラウザーに表示されます。オーディオ、クイズなどのプレゼンテーションのすべての機能は、Adobe Presenter ビューアで表示した場合とまったく同じように機能します。プレゼンテーションは、選択したすべてのテーマ設定と色で表示されます。

注意： 添付ファイルを表示することはできません。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter をクリックし、プレゼンテーショングループで「プレビュー」をクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。

プレゼンテーションをプレビュー プレゼンテーション全体をプレビューします。

現在のスライドをプレビュー プレゼンテーションで現在選択しているスライドのみをプレビューします。

現在のスライドからプレビュー 現在選択しているスライドから開始するプレゼンテーションをプレビューします。

次の 5 枚のスライドをプレビュー 現在選択しているスライドから開始する次の 5 枚のスライドをプレビューします。

値を 5 からアプリケーション設定で必要な値に変更することができます（Adobe Presenter / ツールグループ / 設定 / アプリケーション / プレビュー）。

## お勧めのコンテンツ

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# プレゼンテーションのデザイン

## e ラーニングテンプレートの使用

PowerPoint のテーマのプレゼンテーションへの適用

テーマの作成および編集

スライドへの Adobe Presenter のロゴの追加

プレゼンテーションにスライドノートを含める

プレゼンテーションの設定の変更

プレゼンテーションの自動再生

プレゼンテーションの繰り返し再生

スライドの表示タイミングの変更

Adobe ロゴの変更

Adobe ロゴのハイパーリンクの変更

SWF ロードテキストの変更

## e ラーニングテンプレートの使用

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter には、プレゼンテーション用の各種レイアウトを含むデフォルトの e ラーニングテンプレートが付属しています。これらのレイアウトを使用することで、スライドにテキストや他のアセットの配置をすばやく決めることができます。

プレゼンテーションにテンプレートを使用するには、次の操作を行います。

1. 新規/既存から新規をクリックして新しいプロジェクトを作成します。
2. C:\User\Documents\Adobe\Presenter Assets\PowerPoint Templates に移動してテンプレートを選択します。

Powerpoint のテーマ（「デザイン」リボン）を新しいプレゼンテーションに適用できます。

## PowerPoint のテーマのプレゼンテーションへの適用

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter プレゼンテーションのスライドの背景は、PowerPoint での設定によって決まります。PowerPoint のデザインテンプレートを使用して、プレゼンテーションのスライドの背景をカスタマイズすることができます。デザインテンプレートを適用すると、プレゼンテーションのすべてのスライドにデザインテンプレートの背景が割り当てられます。

例えば、PowerPoint で「Technology」という名前のデザインテンプレートを使用してプレゼンテーションを作成し、Adobe Presenter テーマエディターで「Arctic」という名前の赤いテーマを追加し、そのプレゼンテーションを Adobe Connect Server にパブリッシュして、プレゼンテーションを表示することができます。このテーマは、「Technology」デザインテンプレートのスライドの背景と調和しないことがわかるので、スライドの背景を変更したい場合があります。

コンピューターにインストールされている PowerPoint のバージョンに応じて以下の手順に従います（バージョン番号を確認するには、PowerPoint を開き、「ヘルプ」メニューをクリックして、「バージョン情報」を選択します）。

### PowerPoint XP テンプレートのスライドの背景としての使用

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「書式」メニューから「スライドのデザイン」を選択します。
3. プレゼンテーション用に選択したテーマと調和するテンプレートを選択し、「適用」をクリックします。
4. プレゼンテーションのテーマとデザインテンプレートの背景をテストするには、プレゼンテーションをローカルでパブリッシュし、結果を表示します。PowerPoint で Adobe Presenter / パブリッシュを選択し、「マイコンピューター」を選択して、「パブリッシュ」をクリックします。

### PowerPoint 2007/2010 テンプレートのスライドの背景としての使用

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. メニューから「設計」タブを選択します。
3. プレゼンテーション用に選択したテーマと調和するテンプレートを選択し、「適用」をクリックします。
4. プレゼンテーションのテーマとデザインテンプレートの背景をテストするには、プレゼンテーションをローカルでパブリッシュし、結果を表示します。PowerPoint で Adobe Presenter / パブリッシュを選択し、「マイコンピューター」を選択して、「パブリッシュ」をクリックします。

注意：「Concourse」テーマの背景は使用しないでください。このテーマの勾配の付いたイメージは正しく表示されません。

## PowerPoint のテーマカラーの使用

同様に Adobe Presenter テーマに PowerPoint テーマのカラーを使用することができます。

1. プレゼンテーションを開いて Adobe Presenter / テーマをクリックします。
2. 「Powerpoint のテーマカラーを使用」をクリックし、「OK」をクリックします。

Adobe Presenter は PowerPoint のテーマで使用したカラーをピックアップし、プレゼンテーションのスキンに適用します。テーマエディターでプレビューを表示できます。

「テーマ」、「グロー」、「背景」、「フォントカラー」ボックスは、カラーの様々な陰影とともに PowerPoint テーマで使用されたカラーを表示します。

---

## テーマの作成および編集

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter ビューアでのプレゼンテーションの表示方法をデザインするための主要な方法としてテーマを使用します。テーマは、プレゼンテーションのコンテナとして機能します。テーマを使用して、静的なイメージ、色およびサウンドを追加し、ダイナミックでインタラクティブなプレゼンテーションを作成することができます。テーマはいつでも追加できます。目的のデザインになるまで様々なテーマを使用してみてください。作成する各プレゼンテーションで同じテーマを再利用することも、新しいテーマをデザインすることもできます。

Adobe Presenter には、テーマの色、タブ、機能、グラフィック、フォントスタイルおよびその他のデザイン要素をカスタマイズするための様々なオプションが用意されています。

### プレゼンテーションのテーマの選択

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / テーマをクリックします。
3. テーマの一覧からテーマをクリックします。
4. 「OK」をクリックします。

### カスタムテーマの作成

いずれかのデフォルトのテーマを選択して変更し、新しいテーマを異なる名前で作成することによってカスタムテーマを作成することができます。例えば、テーマである「Sage」を基にして、フォントの色を濃い緑色に変更し、新しいテーマを「Sage Modified」などとして保存することができます。カスタムテーマを作成すると、そのテーマは「テーマ名」ポップアップメニューに表示され、他のプレゼンテーションで使用できます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / テーマをクリックします。
3. 必要な変更を行います。例えば、テーマの様々な領域のテキストを変更するには「テキストラベルを修正」をクリックし、カスタムカラーを選択するには「外観」の下の色をクリックします。
4. 「名前を付けて保存」ボタンをクリックし、新しいテーマの名前を指定します。
5. 「OK」をクリックします。

新しいテーマは、「テーマエディタ」の「テーマ名」ポップアップメニューに表示され、プレゼンテーションをパブリッシュするときに使用できます。

### テーマのテキストラベルの変更とローカライズ

テキストラベルは、ボタンのテキストやタブ名などのテーマ内に表示される語句です。テーマ内のテキストラベルはいつでも編集できます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / テーマをクリックします。
3. 「テキストラベルを修正」をクリックします。
4. 言語リストからテキストラベルの言語を選択します。

注意：ユーザーのコンピューターの言語が、ドイツ語、フランス語、韓国語、日本語、ポルトガル語、スペイン語、イタリア語、中国語（簡体字）またはオランダ語に設定されている場合、プレゼンテーションは、ユーザーのオペレーティングシステムの言語を検出し、自動的にテキストラベルをユーザーのネイティブ言語で表示します。それ以外の場合は、英語のテキストラベルが表示されます。

5. 必要に応じて、プレゼンテーションの任意の要素のテキストラベルを変更します。例えば、ボタンまたはペインに表示されるテキストを変更することができます。
6. 「OK」をクリックします。

### テーマカラーの変更

背景色やグローカラーなどのテーマに表示されるカラーを変更することができます。テーマで使用する背景画像を指定することもできます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／テーマをクリックします。
3. 「外観」の下で、以下のオプションをクリックします。

テーマ テーマのサイドバーとツールバーの色を変更するには、このカラースクエアをクリックします。

グロー ユーザーが、「アウトライン」ペインのスライドの上および「サムネール」ペインのサムネールイメージの上にマウスを移動したときに表示される色を変更するには、このカラースクエアをクリックします。

フォント テーマのテキストの色を変更するには、このカラースクエアをクリックします。

背景 スライド、サイドバーおよびツールバーの背後に表示される背景領域の色を変更するには、このカラースクエアをクリックします。

背景画像 背景画像／変更をクリックし、背景として使用するイメージファイル（JPG 形式）の場所に移動します。背景は、スライド、サイドバーおよびツールバーの背後に表示される領域です。背景画像／削除をクリックし、背景画像を削除します。

4. 「OK」をクリックします。

## テーマの削除

カスタムテーマはいつでも削除できます。ただし、「Sage」、「Sapphire」などの Adobe Presenter に含まれているデフォルトのテーマは削除できません。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／テーマをクリックします。
3. テーマリストで、削除するテーマを選択します。
4. 「削除」をクリックします。
5. 「はい」をクリックして削除するテーマを確認し、「OK」をクリックします。

## テーマのペインの表示 / 非表示の切り替え

ペインは、テーマのサイドバーに表示されます。サイドバーのデフォルトの場所は右側ですが、この位置は変更できます。テーマに表示するペインと表示しないペインを選択することができます。例えば、「アウトライン」ペインと「検索」ペインを表示し、「サムネール」ペインと「ノート」ペインを非表示にすることができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／テーマをクリックします。
3. 右側の「カスタマイズ」領域で、表示するペインを選択し、非表示にするペインを選択解除します。  
選択内容に応じて、左側にあるテーマのプレビューが更新されます。
4. 「OK」をクリックします。

## デフォルトのテーマのペインの設定

ペインは、テーマの一部でサイドバーに表示されます。テーマ内に複数のペインがある場合は、ペインの名前を含むタブを上部に表示してペインが重なって表示されます。最前面に表示されるペインを選択することができます。すべてのペインを表示している場合は、「アウトライン」、「サムネール」、「ノート」および「検索」から選択します。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／テーマをクリックします。
3. 「ペイン」の下の「デフォルト」の横にあるメニューをクリックし、プレゼンテーションの表示時にデフォルトで表示されるペインを選択します。  
選択内容に応じて、左側にあるテーマのプレビューが更新されます。
4. 「OK」をクリックします。

## サイドバーの配置場所の選択

テーマ内のサイドバーには、Adobe Presenter 情報、「アウトライン」や「検索」などのペインおよびプレゼンテーションのタイミング情報が表示されます。サイドバーは、テーマの右側（デフォルト）または左側に配置することができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／テーマをクリックします。
3. 「サイドバーの表示」の下の「場所」の横にあるメニューで、「左」または「右」を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

## テーマの Adobe Presenter オプションの設定

テーマに表示する Adobe Presenter オプションを正確に選択することができます。例えば、Adobe Presenter 名と写真を表示し、経歴またはお問

い合わせを表示しないことができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / テーマをクリックします。
3. 「Adobe Presenter 情報」領域で、テーマに含めるオプションを選択します。

写真 パブリッシュされるプレゼンテーションに Adobe Presenter の写真を含めることができます。

名前 パブリッシュされるプレゼンテーションに Adobe Presenter の名前を含めることを選択します。

タイトル 「人事部部長」など、Adobe Presenter の役職を含めることができます。

経歴 Adobe Presenter の経歴へのリンクを含めることができます。

ロゴ パブリッシュされるプレゼンテーションにロゴを含めることができます。

お問い合わせ 電話番号や電子メールアドレスなど、Adobe Presenter のお問い合わせへのリンクを含めることができます。

選択内容に応じて、左側にあるテーマのプレビューが更新されます。

4. 「OK」をクリックします。

---

## スライドへの Adobe Presenter のロゴの追加

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter ビューアに表示するカスタムロゴを追加することができます。この方法により、プレゼンテーションをカスタマイズし、同じ組織で作成した他のマルチメディアや出版物に似たデザインにすることができます。

注意：人が話している場面のサイドバービデオなどのビデオファイルなどを追加すると、そのビデオがロゴ領域に表示されます。ロゴファイルを追加しても、ビデオファイルが優先されるのでロゴは表示されません。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のアプリケーションメニューで、「プレゼンター」をクリックします。
4. 次のいずれかの操作を行います。
  - [追加] をクリックして、新しいプレゼンターを追加します。
  - 既存のプレゼンターを選択し、[編集] をクリックします。
5. 「ロゴ」テキストボックスの横の「参照」ボタンをクリックします。
6. 使用するロゴファイル（JPG 形式または PNG 形式）の場所に移動します。

注意：テーマ内および Adobe Presenter ビューアにロゴが適切に表示されるように、ロゴのサイズを 148 x 52 ピクセルにすることをお勧めします。

7. ファイルを選択して、「開く」をクリックします。

ファイルの名前が、「ロゴ」テキストボックスに表示され、ロゴのプレビューが右側に表示されます。

8. 「OK」をクリックします。
9. カスタムロゴのプレビューを表示するには、プレゼンテーションをローカルでパブリッシュし、結果を表示します。PowerPoint で Adobe Presenter / パブリッシュを選択し、「マイコンピュータ」を選択して、「パブリッシュ」をクリックします。

---

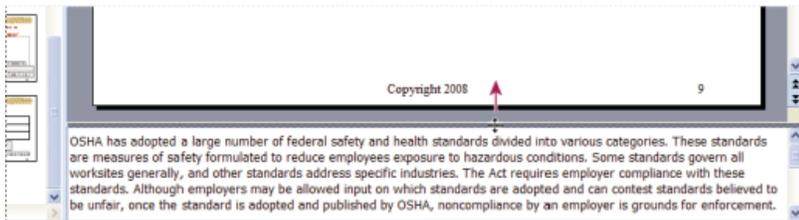
## プレゼンテーションにスライドノートを含める

[トップへ戻る](#)

スライドに関する追加のノートを最終的なプレゼンテーションに含めることができます。ユーザは、Adobe Presenter ビューアのサイドバーの「ノート」ペインをクリックして、ノートを表示します。スライドノートは、数値の詳細、補助資料、脚注のテキストなどのスライドに関する追加情報を表示する場所として適しています。スライドノートを使用して、オーディオ機能がないユーザーや聴覚障害があるユーザーに情報を伝達することもできます。スライドノートは PowerPoint で作成します。

注意：ノートは、Adobe Presenter ビューアに書式設定されていないテキストとして表示されます。PowerPoint のノートペインでノートに適用されたすべての書式設定は無視されます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. ノートを追加するスライドに移動します。
3. 標準ビューまたはノートビューを使用していることを確認します。
4. スライドの下のノート領域にノートを直接入力します（標準ビューで、ノート領域が表示されていないときは、ノートが折りたたまれている可能性があります。セパレータバーをドラッグできるポイントに変わるまで、セパレータバーをクリックします。上にドラッグして「ノート」領域を表示します）。



「ノート」領域を表示するには、2つの矢印が付いた等号記号が表示されるまでセパレータバー上でマウスポインタを移動し、上にドラッグします。

5. (オプション) ノートのテキストを書式設定できます。Adobe Presenter/テーマをクリックし、テーマエディターで必要に応じて「ノートペインのフォント」と「サイズ」を変更します。
6. プレゼンテーションをローカルでパブリッシュして、結果を表示し、サイドバーの「ノート」ペインをクリックすることで、ノートをプレビューすることができます。ローカルでパブリッシュするには、PowerPoint で、Adobe Presenter/パブリッシュを選択します。「マイコンピュター」を選択し、「パブリッシュ」をクリックします。

## プレゼンテーションの設定の変更

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーション設定ダイアログボックスを使用して、タイトルや概要などを設定したり、一時停止や繰り返しなどのプレゼンテーションの動作を設定したりできます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「外観」をクリックして次を指定します。

タイトル プレゼンテーションの名前を入力します。タイトルは、Adobe Presenter ビューアに表示されます。

概要 プレゼンテーションの概要を入力します。概要は、通常、プレゼンテーションのコンテンツの簡単な説明です。プレゼンテーションの概要は、作成者がプレゼンテーションを整理するためにオプションで使用できる便利なツールです。概要は、この (プレゼンテーション) 設定にのみ表示されます。パブリッシュしたプレゼンテーションには表示されないため、ユーザーに表示されることはありません。

注意: プレゼンテーションの概要は、プレゼンテーションをサーバにパブリッシュすると、Adobe Connect Server に表示されます。概要は Connect Pro Central で編集できます。プレゼンテーションの作成者は、概要を検索し、コンテンツ情報を表示するときに概要を表示することができます。

4. 「再生」をクリックして次を指定します。

開始時に自動再生 プレゼンテーションを開いたときに、自動的に再生を開始する場合に選択します。このオプションが選択されていない場合、Adobe Presenter またはユーザーは、プレゼンテーションを開始するために「再生」ボタンをクリックする必要があります。

プレゼンテーションのループ プレゼンテーションを開いたときに、連続して繰り返し再生する場合に選択します。

アウトラインにスライド番号を含める プレゼンテーションを表示するときに、「アウトライン」ペイン内にスライド番号を含める場合に選択します。

各アニメーションの後で一時停止する プレゼンテーションに PowerPoint アニメーションが含まれている場合、このオプションを選択すると、アニメーションの再生後にプレゼンテーションが自動的に一時停止します。これは、アニメーションが終了し、プレゼンテーションが再び開始される場所を明確に定義する必要がある場合に役に立ちます。各アニメーションをクリックした後、再生バーの「再生」ボタンをクリックして、プレゼンテーションを再び開始する必要があります。

オーディオまたはビデオを使用しないスライドの長さ オーディオを使用しないスライドを表示する時間 (秒) を選択します。デフォルトでは、オーディオがあるスライドは、関連付けられたオーディオファイルの長さだけ再生されます。

5. 「OK」をクリックします。

## プレゼンテーションの自動再生

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションを開いたときにプレゼンテーションが自動的に再生されるようにオプションを設定することも、Adobe Presenter またはユーザーがツールバーの「再生」ボタンをクリックしたときにプレゼンテーションが開始されるように設定することもできます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「再生」をクリックします。
4. 「開始時に自動再生」を選択します。デフォルトでは、このオプションが選択されています。

このオプションが選択されていない場合、Adobe Presenter またはユーザーは、プレゼンテーションを開始するために「再生」  をク

リックする必要があります。

5. 「OK」をクリックします。

---

## プレゼンテーションの繰り返し再生

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションは 1 回再生されて停止するように設定するか（デフォルトの設定）、連続して繰り返し再生されるように設定することができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「再生」をクリックします。
4. 「プレゼンテーションのループ」を選択します。
5. 「OK」をクリックします。

---

## スライドの表示タイミングの変更

[トップへ戻る](#)

デフォルトでは、Adobe Presenter はスライドのアニメーションや他のオブジェクトの長さを加算することでスライドの合計表示時間を計算します。n 秒後に PowerPoint で「スライドを進める」オプションを指定する（トランジション／スライドを進める）場合は、Adobe Presenter を設定してスライド表示時間をこの値 (n) に変更できます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「再生」をクリックします。
4. 「PPTX スライド時間を使用」を選択します。
5. 「OK」をクリックします。

---

## Adobe ロゴの変更

[トップへ戻る](#)

デフォルトでは、パブリッシュされたプレゼンテーションの左下隅に小さい Adobe ロゴが含まれています。このロゴを組織のロゴに置き換えて、ブランドを効果的にアピールすることができます。完成した logo.swf ファイルの理想的なサイズは、47 × 27 ピクセルです。

注意： カスタム logo.swf ファイルを作成する場合、SWF ファイルのステージ領域の外にコンテンツを作成しないでください。

1. 独自のブランドを含む logo.swf という名前の新しいファイルを作成します。
2. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
3. Windows エクスプローラで、Adobe Presenter がインストールされているテンプレートフォルダーに移動します。
4. 独自の logo.swf ファイルをテンプレートフォルダーに追加します。
5. PowerPoint で、プレゼンテーションをコンピューターにパブリッシュします。
6. 結果を表示して新しいロゴを確認します。

---

## Adobe ロゴのハイパーリンクの変更

[トップへ戻る](#)

デフォルトでは、パブリッシュされたプレゼンテーションの左下隅に Adobe ロゴが含まれています。このロゴをクリックすると、Acrobat Connect Pro に関する Web ページが表示されます。このリンク先は変更することができます。

### 1 つのプレゼンテーションの Adobe ロゴのハイパーリンクの変更

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. PowerPoint で、プレゼンテーションを保存し、コンピューターにパブリッシュします。
3. Windows エクスプローラを使用して、デフォルトのプレゼンテーションデータフォルダー C:\Documents and Settings\[ユーザー名]\My Documents\My Adobe Presentations\[プレゼンテーション名]\data に移動します。
4. vconfig.xml ファイルを右クリックし、XML エディタまたは Notepad などのテキストエディタを使用してファイルを開きます。
5. <language id="en"> セクションに <uitext name="LOGOCLICKURL" value="url\_of\_page"/> という行を追加し、url\_of\_page の部分を必要に応じて適当な URL に置き換えます。例えば、<uitext name="LOGOCLICKURL" value="http://www.mycompanyname.com"/> と指定します。

注意： 別の言語に合わせてロゴを変更するには、vconfig.xml ファイルに適切な <language id="xx"> セクションを追加します。

6. vconfig.xml ファイルを保存して閉じます。
7. 新しいロゴのハイパーリンクをテストするには、Windows エクスプローラを使用して C:\Documents and Settings\[ユーザー名]\My Documents\My Adobe Presentations\[プレゼンテーション名] に移動し、index.htm ファイルをダブルクリックします。
8. ロゴをクリックします。

## すべてのプレゼンテーションの Adobe ロゴのハイパーリンクの変更

以下の手順を完了すると、パブリッシュされたすべてのプレゼンテーションの Adobe ロゴのハイパーリンクが変更されます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
  2. 次のいずれかの操作を行って language.xml に移動します
    - Windows XP では、[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、%USERPROFILE%\Local Settings\Application Data\Adobe\Adobe Presenter と入力します。
    - Windows Vista では、[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、%LOCALAPPDATA%\Adobe\Adobe Presenter と入力します。
  3. 「OK」をクリックします。
  4. Themes フォルダーをダブルクリックします。
  5. language.xml ファイルを右クリックし、XML エディタまたは Notepad などのテキストエディタを使用してファイルを開きます。
  6. <language id="en"> セクションで、次のいずれかの操作を行います。
    - <uixtext name="LOGOCLICKURL" value="www.adobe.com"/> という行が表示される場合は、値を編集します。例えば、この行の "www.adobe.com" を "http://www.mycompanyname.com" に変更します。
    - <uixtext name="LOGOCLICKURL" value="url\_of\_page"/> という行が表示されない場合は、この行を追加し、"url\_of\_page" の部分を必要に応じて適当な URL に置き換えます。例えば、<uixtext name="LOGOCLICKURL" value="http://www.mycompanyname.com"/> と指定します。
- 注意： 別の言語に合わせてロゴを変更するには、language.xml ファイルに適切な <language id="xx"> セクションを追加します。
7. language.xml ファイルを保存して閉じます。
  8. PowerPoint で、プレゼンテーションを保存してコンピューターにパブリッシュし、「結果を表示」オプションを選択します。
  9. ロゴをクリックして新しいハイパーリンクをテストします。

---

## SWF ロードテキストの変更

[トップへ戻る](#)

デフォルトでは、パブリッシュされたプレゼンテーションのロード画面には「Adobe Presenter」というテキストが含まれます。このテキストを組織名や役職などの独自のテキストに置き換えて、ブランドを効果的にアピールすることができます。

### 1つのプレゼンテーションの SWF ロードテキストの変更

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
  2. プレゼンテーションを保存し、コンピューターにパブリッシュします。
  3. Windows エクスプローラを使用して、デフォルトのプレゼンテーションデータフォルダー C:\Documents and Settings\[ユーザー名]\My Documents\My Adobe Presentations\[プレゼンテーション名]\data に移動します。
  4. vconfig.xml ファイルを右クリックし、XML エディタまたは Notepad などのテキストエディタを使用してファイルを開きます。
  5. <language id="en"> セクションに <uixtext name="ADOBE\_PRESENTER" value="Your\_Text"/> という行を追加し、"Your\_Text" の部分を必要に応じて適当なテキストに置き換えます。
- 注意： 別の言語に合わせてロードテキストを変更するには、vconfig.xml ファイルに適切な <language id="xx"> セクションを追加します。
6. vconfig.xml ファイルを保存して閉じます。
  7. 新しい SWF ロードテキストをテストするには、Windows エクスプローラを使用して C:\Documents and Settings\[ユーザー名]\My Documents\My Adobe Presentations\[プレゼンテーション名] に移動し、index.htm ファイルをダブルクリックします。
  8. プレゼンテーションがロードされる際に表示される新規 SWF ロードテキストを確認します。

### すべてのプレゼンテーションの SWF ロードテキストの変更

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
  2. 次のいずれかの操作を行って language.xml に移動します
    - Windows XP では、[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、%USERPROFILE%\Local Settings\Application Data\Adobe\Adobe Presenter と入力します。
    - Windows Vista では、[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、%LOCALAPPDATA%\Adobe\Adobe Presenter と入力します。
  3. 「OK」をクリックします。
  4. Themes フォルダーをダブルクリックします。
  5. language.xml ファイルを右クリックし、XML エディタまたは Notepad などのテキストエディタを使用してファイルを開きます。
  6. <language id="en"> セクションに <uixtext name="ADOBE\_PRESENTER" value="Your\_Text"/> という行を追加し、"Your\_Text" の部分を必要に応じて適当なテキストに置き換えます。
- 注意： 別の言語に合わせてロゴを変更するには、language.xml ファイルに適切な <language id="xx"> セクションを追加します。

7. language.xml ファイルを保存して閉じます。
8. PowerPoint で、プレゼンテーションを保存してコンピューターにパブリッシュし、「結果を表示」オプションを選択します。
9. ログをクリックして新しいハイパーリンクをテストします。

## お勧めのコンテンツ

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# Adobe Presenter プレゼンテーションの編集

- [プレゼンテーションのタイトルの変更](#)
- [プレゼンテーションの概要の追加](#)
- [スライドのプロパティの変更](#)
- [プレゼンターの追加と編集](#)
- [添付ファイルについて](#)
- [添付ファイルの追加と編集](#)
- [アニメーション、イメージおよび Flash \(SWF\) ファイルの追加](#)

## プレゼンテーションのタイトルの変更

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションのタイトルはいつでも変更できます。タイトルは、Adobe Presenter ビューアに表示されます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」を選択し、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「外観」をクリックします。
4. 「タイトル」テキストボックスにプレゼンテーションの新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

## プレゼンテーションの概要の追加

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションの概要は、通常、プレゼンテーションのコンテンツの簡単な説明です。この概要は、作成者がプレゼンテーションを整理するためにオプションで使用できる便利なツールです。概要は、この（プレゼンテーション）設定にのみ表示されます。パブリッシュしたプレゼンテーションには表示されないため、ユーザーに表示されることはありません。

注意： プレゼンテーションの概要は、プレゼンテーションをサーバーにパブリッシュすると、Adobe Connect Server に表示されます。概要は Connect Pro Central で編集できます。プレゼンテーションの作成者は、概要を検索し、コンテンツ情報を表示するときに概要を表示することができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. プレゼンテーションメニューで、「外観」をクリックします。
4. 「概要」テキストボックスにプレゼンテーションのコンテンツの説明を入力し、「OK」をクリックします。

## スライドのプロパティの変更

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーション内の任意のスライドのプロパティを、いつでも簡単に表示および変更することができます。スライドプロパティには、タイトル、ナビゲーション名、ナビゲーションオプション、マルチメディア情報、ロック情報および Presenter 名が含まれます。また、オーディオ、ビデオおよび Flash を表すアイコンもスライドごとに表示されます。これらのマルチメディアの種類の一つがスライドに含まれている場合は、対応するアイコンがカラーで表示され、それ以外の場合はグレー表示されます。また、スライドプロパティダイアログボックスでは、スライドのグループに対してすばやく簡単に変更を加えることができます。例えば、すべてのスライドにある Presenter が割り当てられていて、その中のいくつかのスライドに別の Presenter がオーディオナレーションを提供したとします。これらのいくつかのスライドに新しい Presenter を割り当てるために、スライドプロパティを使用できます。

注意： Adobe Presenter の「Flash の挿入」または「ビデオの読み込み」メニューより、サイドバーアニメーションが追加されます。

## すべてのスライドのプロパティの表示

プレゼンテーション内のすべてのスライドに関する簡単な説明を 1 か所にまとめて表示することができます。例えば、各スライドにどのプレゼンターが関連付けられているか、ナビゲーション名が割り当てられているかどうか、ユーザーがスライドを進める必要があるかどうかといった情報を表示できます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / スライドマネージャーを選択します。
3. 右側にあるスクロールバーを使用して、プレゼンテーションのすべてのスライドのプロパティを表示します。

## ナビゲーション名の設定

スライドのタイトルとは異なるナビゲーション名をスライドに設定することができます。わかりやすいナビゲーション名を付けると、ユーザーが

パブリッシュされたプレゼンテーション内を移動する際に役立ちます。ナビゲーション名は、パブリッシュされたプレゼンテーションのサイドバー（「アウトライン」および「サムネール」ペイン）に表示されます。

ナビゲーション名は、スライドのタイトルが長い場合や、最終的なユーザー用のプレゼンテーションでスライドのタイトルよりもわかりやすい名前を表示したい場合に便利です。例えば、プレゼンテーションの最初のスライドが「はじめに」というタイトルでも、「製品 X について」などのナビゲーション名を割り当てることができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter/スライドマネージャーを選択します。
3. スライドを選択し、「ナビゲーション名」の右側のリンク名をクリックします（ナビゲーション名が設定されていない場合、リンクは「なし」と表示されています）。
4. 「ナビゲーション名」テキストボックスに、使用するテキストを入力します。
5. 「OK」をクリックします。



ナビゲーション名 (右) に変更されたスライドタイトル (左)

### 「移動先」オプション

プレゼンテーションは通常スライドの順に進みますが、「移動先」オプションを使用するとその順序を変更できます。このオプションにより、プレゼンテーション内のスライドを削除しなくても、スライドをスキップすることができます。

「移動先」オプションは、複数の視聴者向けのプレゼンテーションを作成する場合に役に立ちます。例えば、フルタイムとパートタイムの両方の従業員向けに、給付金に関する 1 つのプレゼンテーションを作成できます。パートタイムの従業員は、フルタイムの従業員にのみ関係するスライドをスキップできます。「スライドに移動」オプションは、プレゼンテーションが Adobe Connect Server にパブリッシュされるかローカルで Web ブラウザーに表示されるかに関係なく同様に機能します。

注意: プレゼンテーションを Adobe Connect Training コースとして使用する場合は、「移動先」オプションを使用しないことをお勧めします。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter/スライドマネージャーを選択します。
3. スライドを選択し、「移動先」の横にあるリンクテキストをクリックします（デフォルトでは、リンクテキストは「なし」です）。
4. 「移動先」ポップアップメニューで、プレゼンテーションのジャンプ先のスライドを選択します。
5. 「OK」をクリックします。

### スライドの進み方の設定

デフォルトでは、プレゼンテーションのスライドは自動的に進められますが、ユーザーが「次へ」ボタンをクリックしたときだけ個々のスライドを進めるように、デフォルトの設定を変更できます。この設定は、例えば、再生時間の設定されていないインタラクティブな Adobe® Captivate® シミュレーションを含むスライドで役立ちます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter/スライドマネージャーを選択します。
3. スライドを選択し、「ユーザーが進行」の横にある「いいえ」または「はい」をクリックしてオプションを選択します。
4. (オプション) すべてのスライドを設定するには、「すべて選択」をクリックし、「編集」をクリックして、「ユーザーが進行」を選択します。
5. 「OK」をクリックします。

### スライドのロック

指定したスライド間隔の間、スライドをロックすることができます。ロックすると、視聴者は最小限の間スライドを表示し、先にすばやくスキップされないようにすることができます。スライドをロックすると、ナビゲーションコントロールは、「アウトライン」ペインおよび「サムネール」ペインからのナビゲーションと共に無効になります。クイズおよび質問スライドはロックできません。

注意: スライドは、初めて表示されるときだけロックされます。その後のスライドの表示はロックされず、ナビゲーションコントロールも無効になりません。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／スライドマネージャーを選択します。
3. スライドを選択し、「スライドをロック」の横にある「はい」または「いいえ」をクリックしてオプションを選択します。
4. （オプション）すべてのスライドをロックするには、「すべて選択」をクリックし、「編集」をクリックして「スライドをロック」を選択します。
5. 「OK」をクリックします。

### 再生バーの非表示

Presenter 9 では、特定のスライドで再生バーを非表示にすることができます。この機能は、ユーザーを再生バーを使用して他のスライドに移動させないようにするプロジェクトの場合に便利です。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／スライドマネージャーを選択します。
3. スライドを選択し、「再生バーを非表示」の横にある「はい」または「いいえ」をクリックしてオプションを選択します。
4. （オプション）すべてのスライドで再生バーを非表示にするには、「すべて選択」をクリックし、「編集」をクリックし、「再生バーを非表示」を選択します。
5. 「OK」をクリックします。

---

## プレゼンターの追加と編集

[トップへ戻る](#)

プレゼンターは、プレゼンテーション中に情報を提供する人です。例えば、題材がソフトウェアトレーニングである場合、インストラクタ、トレーナー、製品マネージャなどがプレゼンターになります。プレゼンテーションのすべてのスライドに 1 人のプレゼンターを割り当てることも、各スライドに異なるプレゼンターを割り当てることもできます。

プレゼンターの名前、写真、役職、略歴、会社のロゴおよびお問い合わせといった、プレゼンターに関する詳細情報を表示できます。これらの情報によりプレゼンテーションの信頼性が向上し、より個性的で興味深いプレゼンテーションになります。

### プレゼンタープロファイルの追加

Adobe Presenter では、プレゼンターのプロファイルは 1 か所にまとめて保管されます。作成するどのプレゼンテーションでも、それらのプロファイルを使用できます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／設定を選択します。
3. 「プレゼンター」タブを選択します。
4. 「追加」をクリックします。
5. 新しいプレゼンターの名前を入力します。

注意： プレゼンターを作成するために必ず入力する必要があるテキストボックスは、「名前」テキストボックスのみです。

6. （オプション）副社長などの役職を入力します。
7. （オプション）「写真」テキストボックスの横にある「参照」をクリックし、JPEG 形式または PNG 形式のイメージファイルの場所に移動します。プレゼンターの写真の推奨されるサイズは 88 × 118 ピクセルです。イメージファイルを選択すると、右側の [プレゼンターの写真] 領域にイメージが表示されます。プレゼンテーション中、イメージはここに表示されるサイズで Presenter ビューアに表示されます。
8. （オプション）[ロゴ] テキストボックスの横にある [参照] をクリックし、JPEG 形式または PNG 形式のロゴファイルの場所に移動します。ロゴに推奨されるサイズは 148 × 52 ピクセルです。イメージファイルを選択すると、右側の [ロゴ] プレビューにイメージが表示されます。プレゼンテーション中、ロゴはここに表示されるサイズで Presenter ビューアに表示されます。

注意： サイドバーアニメーションを追加すると、そのビデオはロゴ領域に表示されます。ロゴファイルを追加しても、ビデオファイルが優先されるのでロゴは表示されません。

9. （オプション）電子メールアドレスを入力します。
10. （オプション）「経歴」テキストボックスに、職業上や学問上の資格、職歴、電話番号、仕事内容の説明といった、プレゼンターに関する情報を入力します。
11. この人をすべてのプレゼンテーションのデフォルトのプレゼンターにする場合は、「デフォルト」オプションを選択します。
12. 「OK」をクリックします。
13. 「閉じる」ボタンをクリックします。

### プレゼンテーション全体のプレゼンターの設定

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter／スライドマネージャーを選択します。

3. 「すべて選択」をクリックします。
4. 「編集」をクリックします。
5. 「プレゼンター」ポップアップメニューで、リストから名前を選択します。
6. 「OK」をクリックします。
7. 「閉じる」ボタンをクリックします。

### スライドのプレゼンターの設定

すべてのスライドに対して同じプレゼンターを設定することもできますし、個々のスライドに対して異なるプレゼンターを設定することもできます。また、1つまたは複数のスライドに対してプレゼンターを設定しないようにすることもできます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / スライドマネージャーを選択します。
3. 次のいずれかの操作を行います。
  - 個々のスライドに対してプレゼンターを設定するには、スライドを選択し、「プレゼンター」の右側のリンクをクリックします。メニューを使用してプレゼンターを選択します。
  - すべてのスライドに対してプレゼンターを設定するには、「すべて選択」をクリックし、「編集」をクリックして、プレゼンターメニューを使用して「プレゼンター」を選択し、「OK」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。

### プレゼンターの編集

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / 設定を選択します。
3. 「プレゼンター」タブを選択します。
4. リストから「プレゼンター」を選択して「編集」をクリックするか、「プレゼンター」をダブルクリックします。
5. 役職、電子メールアドレス、経歴などのプロパティを変更します。
6. 「OK」をクリックします。
7. 「閉じる」ボタンをクリックします。

### プレゼンターの削除

プレゼンターおよび経歴や電子メールアドレスなどのすべての関連情報をいつでも削除することができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. Adobe Presenter / 設定を選択します。
3. 「プレゼンター」タブを選択します。
4. リストから「プレゼンター」を選択し、「削除」をクリックします。（削除したプレゼンターがプレゼンテーション内のいずれかのスライドに関連付けられている場合、そのスライドのプレゼンターは「なし」になります。）
5. 「閉じる」ボタンをクリックします。

---

## 添付ファイルについて

[トップへ戻る](#)

添付ファイルは、視聴者にプレゼンテーションの補足情報を提供するファイルまたはリンクです。添付ファイルを使用して、Web ページ、ドキュメント、Adobe PDF、FlashPaper ドキュメント、SWF ファイル、スプレッドシートなどの既存のコンテンツをプレゼンテーションに組み込むことができます。また、Web サイトへのリンク、または Adobe Connect Server やサードパーティ製のシステムによってホストされているドキュメントへのリンクを追加することもできます。

注意: PDF ファイルへのリンクのみを添付できます。

プレゼンテーションに添付ファイルが含まれる場合、「添付ファイル」ボタン  が Adobe Presenter ビューアの下部に表示されます。

ユーザーは、このボタンをクリックして、プレゼンテーションに関連した添付ファイルのリストを表示し、その中のファイルをどれでもクリックして開くことができます。

注意: Web ブラウザによっては、添付ファイルを開いて表示するために、ユーザがローカルコンピュータに添付ファイルを保存する必要があります。



異なるタイプの添付ファイルが一覧表示された添付ウィンドウ

添付ファイルは、タイプに応じてアプリケーションまたはデフォルトのブラウザで開かれます。

注意：添付ファイルはプレビューモードでは開きません。

添付ファイルのタイプ	使用されるアプリケーション
FlashPaper[FlashPaper]	デフォルトの Web ブラウザー
Microsoft Word ドキュメント	Microsoft Word (インストールされている場合)
Microsoft Excel スプレッドシート	Microsoft Excel (インストールされている場合)
Microsoft PowerPoint プレゼンテーション	Microsoft PowerPoint
テキスト (TXT) ファイル	メモ帳、ワードパッドなどのデフォルトのテキストエディター
PDF	Adobe Reader (インストールされている場合)
SWF ファイル	Internet Explorer、Mozilla Firefox などのデフォルトの Web ブラウザー
イメージまたはグラフィックファイル	Internet Explorer、Mozilla Firefox などのデフォルトの Web ブラウザー
URL	Internet Explorer、Mozilla Firefox などのデフォルトの Web ブラウザー

## 添付ファイルの追加と編集

[トップへ戻る](#)

Web ページ、ドキュメント、PDF ファイル、FlashPaper ドキュメント、SWF ファイルまたはスプレッドシートをプレゼンテーションに添付します。また、Web サイトへのリンク、または Adobe Connect Server やサードパーティ製のシステムによってホストされているドキュメントへのリンクを追加することもできます。

Microsoft が追加したセキュリティ制限により、Adobe Connect Server ではなくローカルにパブリッシュしたプレゼンテーションの添付ファイルが、Internet Explorer では適切に表示されない場合があります。Adobe Presenter の場合、ローカルにパブリッシュされたプレゼンテーションは Flash Player で実行されるため、Internet Explorer によって Flash Player からのファイルのダウンロードが安全でないと見なされてしまいます。

この問題を回避できる方法が 2 つあります。

- 1 つは、プレゼンテーションのパブリッシュに Adobe Connect Server (または、他の学習管理システム) を使用する方法です。
- もう 1 つは、添付するファイルを Web ブラウザーや、ユーザーがアクセスできるネットワークドライブからダウンロードできるようにします。そして PowerPoint のハイパーリンク機能を使用することで、ユーザーが添付ファイルを表示できるようにする方法です。

### プレゼンテーションへの添付ファイルの追加

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. プレゼンテーションメニューで、「添付ファイル」をクリックします。
4. 「追加」をクリックします。
5. 添付ファイルの固有の名前を入力します。
6. 「タイプ」ポップアップメニューで、「ファイル」または「リンク」を選択します。
  - ファイルを添付するには、「参照」をクリックし、添付するファイルがある場所に移動します。
  - リンクを添付するには、「URL」テキストボックスにフルパスを入力します。
7. 「OK」をクリックします。

## ドキュメントへのリンクの追加とテスト

Adobe Connect Server またはサードパーティ製のシステム上のドキュメントへのリンクは添付ファイルです。例えば、PowerPoint スライド上のテキストから SWF ファイルへのリンクを作成できます。

ドキュメントにリンクするときに、プレゼンテーションで適切に表示されるように、ドキュメントをそのドキュメントのリソースフォルダーにコピーする必要がある場合があります。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. リンクを追加するスライドに移動します。
3. リンクとして使用するテキストを選択します。
4. 「挿入」メニューから「ハイパーリンク」を選択します。
5. リンク先のファイルに移動し、「OK」をクリックします。
6. リンクをテストするには、Adobe Presenter / パブリッシュを選択してプレゼンテーションをプレビューします。
7. 「マイコンピュータ」を選択します。
8. 「パブリッシュ後に結果を表示」を選択します。
9. 「パブリッシュ」をクリックします (すべてのファイルが削除されるというメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。プレゼンテーションを作成するたびに、現在の出力フォルダーにあるファイルが削除され、新しく作成したファイルに置き換えられます)。
10. リンクを含むスライドに移動し、リンクをクリックします。
11. 「file:///C:/Documents and Settings/Smith/My Documents/My Adobe Presentations/PresentationName/data/resources/sample.swf」が見つかりません」のようなメッセージが表示された場合は、ファイルをリソースフォルダーにコピーしてください (デフォルトでは、このフォルダーは C:/My Documents/My Adobe Presentations/[プレゼンテーション名]/data/resources にあります)。メッセージで指定されたパスを書きとめ、Web ブラウザーのプレゼンテーションを閉じます。
12. Windows エクスプローラを開きます。ファイルの現在の場所に移動します。
13. ファイルを右クリックし、「コピー」を選択します。
14. エラーメッセージで指定された場所に移動します (手順 10 の例のようなアドレスなど)。
15. リソースフォルダーを右クリックし、「貼り付け」を選択します。
16. 手順 6 ~ 8 に従ってプレゼンテーションをプレビューし、リンクを再度テストします。

## ファイルへのリンクの作成

プレゼンテーションからファイルへのリンクを作成するときに、リンクパスがプレゼンテーションの場所を基準にしている場合、このセクションに記載されているステップを実行して、リンクが正しく機能することを確認します。この問題は、PowerPoint が相対リンクの管理に使用する方法が原因で発生します (ただし、PowerPoint は、ファイルへのすべてのリンクを、PPT ファイルまたは PPTX ファイルと同じドライブで解決します)。

1. Windows エクスプローラで、プレゼンテーション PPT ファイルまたは PPTX ファイルを含むフォルダーに移動します (例: C:\Folder A\test.ppt)。
2. プレゼンテーション PPT ファイルまたは PPTX ファイルを含むフォルダーのサブフォルダーを作成します (例: C:\Folder A\Links)。
3. プレゼンテーションからリンクするすべてのファイルを新しいサブフォルダーにコピーします。
4. プレゼンテーション内にファイルへのリンクを作成します。
5. プレゼンテーションをパブリッシュします。パブリッシュされたコンテンツフォルダーの場所を書きとめます (例: C:\Preso)。
6. 手順 2 で作成したリンクを含むサブフォルダーを、手順 5 でパブリッシュしたコンテンツフォルダーの Data\Resources サブフォルダーにコピーします。例えば、リンクフォルダーを C:\Folder A\Links から C:\Preso\Data\Resources\Links にコピーします。

注意: リンクの代わりに添付ファイルを使用できます。添付ファイルを使用すると、ファイルはパブリッシュされたコンテンツに自動的に含まれます。

## プレゼンテーションの添付ファイルの名前、タイプまたは場所の変更

プレゼンテーションに添付ファイルを追加した後に、添付ファイルに関する情報を編集できます。

注意: 添付ファイルの内容を編集するには、そのファイルを作成したアプリケーションでファイルを開きます。編集後、Adobe Presenter を開き、古い添付ファイルを削除してから、更新された添付ファイルを追加します。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. プレゼンテーションメニューで、「添付ファイル」をクリックします。
4. 添付ファイルを選択して「編集」をクリックするか、添付ファイルをダブルクリックします。
5. 名前、タイプ (ファイルまたはリンク) または場所を変更して、「OK」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。

## プレゼンテーションの添付ファイルの削除

1. PowerPoint で、プレゼンテーション (PPT ファイルまたは PPTX ファイル) を開きます。

2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. プレゼンテーションメニューで、「添付ファイル」をクリックします。
4. 添付ファイルを選択し、「削除」をクリックします。
5. 「OK」をクリックします。

添付ファイルが含まれるフォルダーを間違えて削除した場合、次にプレゼンテーション（PPT または PPTX）ファイルを開いて保存するときに、削除された添付ファイルごとにファイルがないことを示すダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスには、Windows エクスプローラによる添付ファイルの参照、プレゼンテーションからの添付ファイルの削除、および無視の 3 つのオプションがあります。「無視」を選択すると、そのプレゼンテーションを閉じて、再び開き、「保存」を選択しない限り、ダイアログボックスは表示されません。

## アニメーション、イメージおよび Flash (SWF) ファイルの追加

[トップへ戻る](#)

アニメーションや SWF ファイルを Adobe Presenter プレゼンテーションに組み込むことができます。

フロートテキストやディゾルブテキストのような PowerPoint アニメーションが既にある場合、それらは Adobe Presenter によってスムーズに変換され、PowerPoint で表示される場合とまったく同じように最終的なプレゼンテーションに表示されます。

注意： Adobe Presenter でアニメーションを制御できるようにするには、アニメーションを「クリック時」に設定する必要があります。スライドマスターにあるアニメーションは制御できません。アニメーションをスライドマスターから削除し、個々のスライドに配置してください。

### 人物の画像とシーンの挿入

Adobe Presenter は、プレゼンテーションの訴求力を高めるのに役立つ経営者や医師などのすぐに使用できる人物画像を提供します。

オフィスビルやホームインテリアなどのシーンをすばやく挿入することもできます。

1. PowerPoint でプレゼンテーションを開きます。
2. 人物画像またはシーンを挿入するスライドをクリックします。
3. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループで「人物」または「シーン」をクリックします。
4. 表示されるダイアログボックスで、左のカテゴリのいずれかを選択し、右の必要な画像をクリックします。

注意： 文字ダイアログボックスの「ここから文字アセットをダウンロード」リンクをクリックして、複数の画像をダウンロードします。

5. 「OK」をクリックします。

### アニメーション再生後のプレゼンテーションの一時停止

プレゼンテーションに PowerPoint アニメーションが含まれている場合、アニメーションの再生後にプレゼンテーションを自動的に一時停止させることができます。この方法は、アニメーションが終了し、プレゼンテーションが再開される場所を定義するのに便利です。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」を選択し、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「再生」をクリックします。
4. 「各アニメーションの後で一時停止する」を選択します。
5. 「OK」をクリックします。

このオプションが選択されている場合、ユーザーは、一時停止後にプレゼンテーションを再開するためにツールバーの「再生」 をクリックする必要があります。

### プレゼンテーションのイメージの画質の設定

イメージの画質を高くすると、ファイルサイズが大きくなります。いくつかの設定を試して、画質とファイルサイズのちょうど良いバランスを見つけてください。高画質は帯域幅の制限がないユーザーに向いています。一方、帯域幅が制限されているユーザーには、通常または低画質を使用してください。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」を選択し、「ツール」グループで「設定」をクリックします。
3. 左のプレゼンテーションメニューで、「品質」をクリックします。
4. イメージの品質オプションを選択します。

高 ファイルサイズが最も大きくなり、イメージの画質が最も高くなります。

中 ファイルサイズとイメージの画質のバランスが最適になります。

低 ファイルサイズが最も小さくなり、イメージの画質が最も低くなります。

劣化なし（Adobe Presenter 7.0.7 以降で使用可能）SWF ファイルに埋め込まれる高画質画像。SWF ファイルのサイズは、「低」オプションから得られるもの以上です。Adobe Presenter では、品質が劣化する形式である .jpeg 形式ではなく、劣化のない形式である .png 画像形式を使用します。

5. (オプション) プレゼンテーションの連続したスライドに SWF ファイルが含まれている場合は、「埋め込まれた Flash コンテンツをプリロードしない」を選択します。このオプションを選択すると、最初の SWF ファイルの再生が完了するまで、2 番目の SWF ファイルの再生は開始されません。

注意： オーディオファイルを含めずにプレゼンテーションをパブリッシュするには、「オーディオをパブリッシュ」の選択を解除します。

6. 「OK」をクリックします。

## お勧めのコンテンツ

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# SWF ファイルとビデオファイルの読み込み

[プレゼンテーションへの SWF ファイルの追加と管理](#)

[ビデオファイルの読み込み](#)

[H.264 ビデオの読み込み](#)

[読み込んだビデオファイルの編集](#)

## プレゼンテーションへの SWF ファイルの追加と管理

[トップへ戻る](#)

Adobe Presenter では、SWF ファイルをプレゼンテーションに追加できます（ビデオファイルの追加については、[ビデオの読み込みを参照してください](#)）。SWF ファイルを使用して、コンテンツまたは表示効果（アニメーションポイントなど）を追加できます。

プレゼンテーション内の各スライドは、個別の外部 Flash アセットとして読み込まれ、任意の SWF ファイルを追加することができます。埋め込みの SWF ファイルを使用する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 30 フレーム/秒で SWF ファイルを作成します。Adobe Presenter プレゼンテーションは、30 フレーム/秒で作成されるので、同じ設定の SWF ファイルにすれば、プレゼンテーションにスムーズに統合することができます。
- `_root` または絶対ムービークリップ参照は使用しないでください。MovieClip オブジェクト参照で相対パスを使用し、`_root` は使用しないでください。
- 埋め込む SWF ファイルでは、そのファイル自体以外のものを変更しないようにする必要があります。したがって、コードは変数 `_level#`、`_global` または `stage` を参照できません。

注意： Adobe Presenter 7.0.7 では、プレゼンテーションツールバーから SWF ファイルをコントロールするときには、AS3 SWF ファイルを使用すると良い結果が得られます。

## プレゼンテーションへの SWF ファイルの挿入

Flash (SWF) ファイルは、インターネット経由でグラフィックやアニメーションを配信するためのコンパイルされた表示専用の Flash ファイルです。

注意： Adobe Captivate で作成したシミュレーションやデモンストレーションがある場合は、それらを簡単にプレゼンテーションに追加できます。トレーニングデモンストレーションやソフトウェアシミュレーションなどの特定の Adobe Captivate プロジェクトは、プレゼンテーションでは効果的です。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループで SWF/挿入をクリックします。
3. 「読み込みオプション」の「読み込みオン」の一覧から、SWF ファイルに挿入するスライドをクリックします。
4. 「読み込みオプション」の下で「スライドアニメーション」または「サイドバーアニメーション」を選択します。
5. SWF ファイルの場所に移動し、SWF ファイルを選択します。
6. （オプション）Flash (SWF) の挿入ダイアログボックスで直接 SWF ファイルをプレビューするには、「プレビュー」を選択します。
7. 「開く」をクリックします。Adobe Presenter は SWF ファイルをスライドに追加します。
8. （オプション）必要な場合は、ファイルを選択し、スライド上の新しい場所にドラッグします。

注意： PowerPoint を使用して、SWF コンテンツがプレゼンテーションでどのように表示されるかをプレビューできます。PowerPoint で、表示メニューから「スライドショー」を選択します（PowerPoint 2007/2010 では、ActiveX の Trust Center 設定が原因で、スライドに埋め込まれた Flash アニメーションがスライドショーで再生されないことがあります）。

## 挿入された SWF ファイルの Adobe Presenter 再生バーによる制御

SWF ファイルをプレゼンテーションに追加する場合、SWF ファイルを Adobe Presenter の再生バー（「停止」、「一時停止」、「再生」など）で制御するか、元の SWF ファイルの再生バーで制御するかを選択できます。例えば、Adobe Captivate デモンストレーションの SWF ファイルをプレゼンテーションに追加する場合、Adobe Presenter ビューアの再生バーまたは Captivate デモンストレーション内の再生バーでデモンストレーションを制御することができます。

注意： この設定はスライドアニメーションとして追加された SWF ファイルにのみ使用でき、サイドバーアニメーションとして追加された SWF ファイルには使用できません。

Adobe Presenter は次に表示される 2 つのスライドをバッファに入れているため、通常は、Adobe Presenter の再生バーで SWF ファイルを制御します。Adobe Presenter の再生バーでファイルを制御しない場合は、SWF ファイルの再生が早く始まります。

1. PowerPoint で、追加した SWF ファイルが含まれるプレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。

2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループで SWF／管理をクリックします。
3. リスト内のいずれかのファイルの横にある「プレゼンテーションの再生バーを使用したコントロール」オプションを選択します。
4. 「OK」をクリックします。

## スライドとサイドバーからの SWF ファイルの削除

1. PowerPoint で、追加した SWF ファイルが含まれるプレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループで SWF／管理をクリックします。
3. 削除する SWF ファイルの名前をクリックします。
4. 「削除」をクリックします。
5. 「はい」をクリックして確認します。
6. 「OK」をクリックします。

---

## ビデオの読み込み

[トップへ戻る](#)

プレゼンテーションに追加されたビデオファイルは、スライドやビューアのサイドバーで直接表示できます。スライドアニメーションは既存のスライドに簡単に組み込むことができます。また、ビデオファイルのみが含まれたスライドを作成することができます。ビデオファイルをサイドバーアニメーションとして追加すると、スピーカーのビデオがある場合に特に役立ちます。サイドバーに追加されたビデオは、Adobe Presenter の写真の場所に表示されます。1つのスライド領域に追加できるビデオは1つだけです

（SWF ファイルの追加については、[プレゼンテーションへの SWF ファイルの追加と管理](#)を参照してください。

注意： ビデオは各スライドに個別に追加されます。1つのサイドバーアニメーションファイルを複数のスライドで使用する必要がある場合は、ビデオを複数のファイルに分割します。

読み込み可能なビデオファイルの形式は、3GP、F4V（On2 FLV として再エンコードされることはありません）、ASF、AVI、DV、DVI、MOV、MP4、MPEG、MPG、WMA、WMV、FLV です。

Adobe Presenter では、On2 FLV ファイルとして再エンコードすることにより、複数のビデオファイル形式を読み込むことができます。変換可能な形式

は、ASF、WMV、AVI、MPEG、MPE、M1V、M2V、MOD、MP2、MPV2、MP2V、MP4、DV、DVI、MOV、3GP、3GPP、3GP2、3GPP2 です。埋め込みファイルは Flash Player 9 で再生できます（Adobe Presenter 7.0.7 では、ファイルは Flash Player 9 以降で再生できます）。

注意： H.264 ファイルは、Flash Player 9.0.115.0 以降ではサポートされないため、FLV ファイルとして再エンコードされません。H.264 でエンコードされた AVI 形式や MOV 形式のファイルは、FLV に変換されません。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
  2. ビデオファイルを追加するスライドを選択します。
  3. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループでビデオ／読み込みをクリックします。
  4. スライドに追加するビデオファイルの場所に移動します。
  5. ビデオファイルを選択します。
  6. 「読み込みオプション」の下で、メニューから「品質」オプションを選択します。
  7. （オプション）ビデオを読み込むスライドを変更するには、「読み込みオン」メニューから別のスライドを選択します。
  8. 「スライドアニメーション」または「サイドバーアニメーション」を選択します。
  9. （オプション）小さいバージョンのビデオファイルを「ビデオの読み込み」ダイアログボックスに直接表示するには、「プレビュー」を選択します。
- 注意： プレビューに QuickTime が必要なビデオを読み込む場合、「プレビュー」オプションを使用すると不安定になることがあります（プレビューに QuickTime を使用するファイルタイプは、MP4、DV、DVI、MOV、3GP、3GPP、3GP2、3GPP2、M4V、F4V です）。
10. 「開く」をクリックします。
  11. （オプション）スライドでビデオを表示するには、プレゼンテーションをパブリッシュして表示します。

---

## H.264 ビデオの読み込み

[トップへ戻る](#)

H.264 は、他の標準よりも低いビットレートで高品質のビデオを提供できるように開発されたビデオ圧縮標準です。

H.264 ビデオを Adobe Presenter に読み込むことができます。H.264 ビデオには、Flash Player バージョン 9.0.115.0 が必要です。ビデオの再生時に、Adobe Presenter は Flash Player のバージョンを確認します。インストールされている Flash Player がバージョン 9 以前のものである場合は、エラーメッセージが表示され、ビデオは再生されません。

注意： H.264 でエンコードされた一部のビデオファイルが、Adobe Presenter で認識されない場合があります。このようなビデオファイルは、Flash Player で正しく再生されるように、On2 VP6 コーデックに再エンコードされます。

## 読み込んだビデオファイルの編集

ビデオファイルを読み込んだ後、必要に応じて編集することができます。

1. PowerPoint で、プレゼンテーション（PPT ファイルまたは PPTX ファイル）を開きます。
2. 編集するビデオファイルが含まれているスライドを選択します。
3. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループでビデオ／編集をクリックします。
4. （オプション）編集するビデオが別のスライドにある場合は、「編集場所」の横にあるメニューをクリックして別のスライドを選択します。
5. ビデオファイルの開始や一時停止を行うには、再生バーの「再生」 / 「一時停止」   を使用します。
6. ビデオファイルを削除するには、ごみ箱  をクリックします。
7. スライド領域のビデオとサイドバーのビデオを切り替えるには、「名前」の横にあるメニューをクリックしてオプションを選択します。両方のビデオが同じスライド上にある場合は、両方にエフェクトを適用できます。
8. （オプション）ビデオのオーディオトラックを無音にするには、「再生中にオーディオをミュート」を選択します。
9. （オプション）ユーザーに対して表示されるビデオの長さを変更するには、ビデオ再生バーの下部の選択マーカー  を移動または調整します。マーカー間の選択部分のみが再生されます。
10. 必要に応じて、次のオプションを変更してください。

エフェクト 「フェードイン」などのエフェクトを指定し、ビデオに適用します。

速度 「速」や「遅」など、選択したエフェクトの時間を指定します。

次の後に開始 エフェクトの開始時期を指定します。指定した遅延時間、アニメーションまたはオーディオの後に、エフェクトが適用されます。

時間（秒） エフェクトを有効にするまでの時間を指定します（時間（秒）オプションは、「次の後に開始」の「遅延時間」オプションと共に使用します）。
11. ビデオファイルの編集が終わったら、「OK」をクリックします。

## お勧めのコンテンツ

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# 学習インタラクションの挿入

学習インタラクションは、アコーディオンやタブを使用したインタラクションなど、標準ユーザーインタラクションをすばやく設定するのに役立つ静的ウィジェット（SWF ファイル）です。

1. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループでインタラクション／挿入をクリックします。
2. インタラクションを選択ダイアログボックスに挿入するインタラクションの種類をクリックし、「挿入」をクリックします。
3. テーマの一覧からテーマを選択します。
4. 「カスタム」をクリックして選択したテーマをカスタマイズします。

注意： ボタンには、標準時、オーバー、アクティブの3つのステータスがあります。標準時は、ボタンをクリックしていないときの状態です。オーバーは、マウスをボタンの上に配置したときの状態です。アクティブは、ボタンをクリックしたときの状態です。

5. ボタンテキストおよびボタンコンテンツの領域をダブルクリックして、テキストを入力します。テキストに加えて、ボタンコンテンツ領域には画像や音声ファイルを挿入することもできます。
6. 「+」アイコンをクリックしてボタンを追加します。
7. 「OK」をクリックします。

---

## インタラクションの管理

[トップへ戻る](#)

1. PowerPoint のプレゼンテーションで、インタラクションを含むスライドをクリックします。
2. 「Adobe Presenter」をクリックし、「挿入」グループでインタラクション／管理をクリックします。
3. 編集するインタラクションをクリックします。インタラクションを挿入ダイアログボックスが表示されます。
4. 必要に応じてインタラクションを変更し、「OK」をクリックします。

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# アプリケーションシミュレーションの記録

[自動記録](#)

[手動記録](#)

[パニング](#)

[記録の環境設定の指定](#)

[アプリケーションシミュレーションの編集](#)

コンピューターに Adobe Captivate 6.0 がインストールされている場合は、Adobe Presenter からアプリケーションシミュレーションをキャプチャできます。キャプチャされたシミュレーションは、別のスライドに SWF ファイルとして自動的に挿入されます。

1. PowerPoint で PPT または PPTX ファイルを開きます。
2. アプリケーションシミュレーションの前のスライドを選択します。例えば、シミュレーションをスライド 6 に表示させる場合は、スライド 5 をクリックします。
3. 「Adobe Presenter」をクリックし、「アプリケーションシミュレーション」グループで「記録」をクリックします。記録ウィンドウが表示されます。
4. 画面領域またはアプリケーションをクリックします。

アプリケーション プロジェクトの一環として記録するアプリケーションを指定する場合は、このオプションを選択します。アプリケーションを選択メニューで、アプリケーションのうち、記録するものを選択し、次のいずれかを選択します。

カスタムサイズ

記録されたプロジェクトの寸法を設定する場合は、このオプションを選択します。標準サイズの一覧から選択するか、またはカスタムサイズを定義できます。選択したアプリケーションは、記録領域の枠線内に合わせて自動的にサイズが変更されます。記録を開始する前に、プロジェクトの寸法について明確に意識しておくことをお勧めします。

アプリケーションウィンドウ

アプリケーションウィンドウ全体を記録する場合は、このオプションを選択します。アプリケーションの寸法は、変更されません。記録矩形は、アプリケーションに合わせてサイズが変更されます。

アプリケーション領域

アプリケーションで定義された領域を記録する場合は、このオプションを選択します。例えば、3つのフレームを持つウィンドウを記録している場合、個別のフレームの上にマウスを移動すると、記録ウィンドウがそれに合わせて吸着します。アプリケーションの寸法は、変更されません。記録矩形は、アプリケーションの定義された領域に合わせてサイズが変更されます。

画面領域 画面上の領域内で発生したすべてのイベントをキャプチャする場合に、このオプションを選択します。

カスタムサイズ

特定の寸法を使用してプロジェクトを記録する場合は、このオプションを選択します。標準サイズの一覧から選択するか、または独自のカスタムサイズウィンドウを作成できます。

フルスクリーンモード

記録ウィンドウのサイズをモニター画面のサイズに設定する場合は、このオプションを選択します。コンピューター画面全体が記録ウィンドウとして扱われます。デュアルモニターを使用している場合、記録に使用するモニターを選択できます。このモードでの記録では、モニターの解像度が高い場合に、プロジェクトおよび出力ファイルのサイズが非常に大きくなる可能性があります。

5. 「記録タイプ」領域で、「自動」または「手動」をクリックします。詳しくは、[自動記録](#)および[手動記録](#)を参照してください。
6. 次のいずれかまたはすべての操作を実行します。
  - 記録ウィンドウを移動させて画面上での移動を追跡するには、パニングモードを選択します。詳しくは、[パニング](#)を参照してください。
  - 記録中にコメントを追加する場合は、音声入力のタイプを選択します。
  - 記録中に Adobe Captivate が使用するデフォルト設定を変更するには、録音オプションの一番下にある「設定」をクリックします。記録の環境設定のカスタマイズについて詳しくは、[記録の環境設定の指定](#)を参照してください。
7. 「記録」をクリックします。

8. 手動記録を選択した場合、処理の実行中にスクリーンショットをキャプチャするには、PrintScreen キーを押します。

9. 記録を完了したら、End キーを押します。

## 自動記録

[トップへ戻る](#)

自動記録で記録すると、Adobe Captivate によってスクリーンショットが自動的にキャプチャされ、別々のスライドに配置されます。通常、スクリーンショットのキャプチャは、マウスイベント、キーボードイベントまたはシステムイベントによってトリガーされます。自動記録は、Adobe Presenter で最も一般的に使用される記録方法です。

録音オプション（ファイル/新しいソフトウェアシミュレーションを記録）で、次の自動記録モードのいずれかを選択します。

- デモンストレーションモード
- トレーニングモード
- 評価モード
- カスタムモード

モードによっては、記録中に、次に示す 1 つ以上のオブジェクトが自動的に追加される場合があります。各モードの記録に関する環境設定は、変更することができます。各モードの説明内容は、記録の環境設定がデフォルト値の場合のものであります。

**テキストキャプション** テキストキャプションは、スライド上の特定の領域を強調したり、概念を説明したり、追加情報を表示したりするために使用されます。自動または手動でテキストキャプションを作成できます。プロジェクトを自動記録する場合は、Adobe Captivate でテキストキャプションを自動的に作成できます。テキストキャプションは、様々なマウスイベントとキーボードイベントに関して生成されます。

テキストキャプションでは、手順を説明するためにアプリケーションのラベルが使用されます。例えば、ユーザーがメニューバーの「ファイル」をクリックすると、「ファイルメニューを選択」というテキストを含んだテキストキャプションが自動的に作成されます。キャプションは必要に応じて後で編集できます。ユーザーがムービーを表示すると、記録中に実行されたアクションがキャプションと共に表示されます。

**テキスト入力ボックス** テキスト入力ボックスは、ユーザーによる入力が必要とする Adobe Captivate オブジェクトです。一部のモードでの記録時には、デフォルトのヒントキャプション、成功キャプションまたは失敗キャプションを含んだテキスト入力ボックスがスライドに追加されます。これらのキャプションのテキストは、後で編集できます。

**クリックボックス** クリックボックスは、記録時にマウスがクリックされた場所の周辺領域を指定する Adobe Captivate オブジェクトです。クリックボックスを使用すると、ユーザーはムービーを使用してアプリケーションまたは Web サイトをテストできます。閲覧者がクリックボックスをクリックした後に、プロジェクトが別のアクションを実行するように設定できます。例えば、プロジェクトが再生を再開したり、新規プロジェクトを開いたり、特定の Web サイトを開いたりするように設定できます。

**ハイライトボックス** ハイライトボックスは、注意を引きたい領域上に配置する、半透明な色付きの四角形です。ハイライトボックスの形式、色、透明度およびサイズは編集できます。プロジェクトやスライドを自動的に記録すると、マウスイベントが発生した領域にハイライトボックスが作成されます。既存のプロジェクトがある場合は、手動でハイライトボックスを追加することもできます。

これらのオブジェクトについての詳細は、[Adobe Captivate ヘルプ](#)を参照してください。

### デモンストレーションモード

手順または機能のデモンストレーションを行うには、デモンストレーションモードを使用します。ただし、このモードで生成されたムービーには、ユーザーインタラクション領域が用意されていません。ユーザーには、プロジェクトの記録時に実行されたアクションが表示されるだけです。

デモンストレーションモードでムービーを記録すると、Adobe Captivate によって次の処理が行われます。

- アプリケーションのコントロールラベルを使用して、テキストキャプションが追加されます。例えば、ユーザーがメニューバーの「ファイル」をクリックすると、「ファイルメニューを選択」というテキストを含んだテキストキャプションが自動的に作成されます。
- マウスがクリックされた領域をハイライト表示するためのハイライトボックスが追加されます。
- 記録時に手動でテキストを追加します。

### トレーニングモード

ムービーの途中でユーザーにテストを出す場合は、トレーニングモードを使用します。ムービーは、ユーザーが前のアクションを正しく実行した場合のみ、次のスライドに移動します。

トレーニングモードでスライドを記録すると、Adobe Captivate によって次の処理が行われます。

- ユーザーがマウスをクリックする必要がある場所にクリックボックスが追加されます。
- ユーザーによる入力用のテキスト入力ボックスが追加されます。失敗キャプションおよびヒントキャプションが各テキスト入力ボックスに追加されます。

## 評価モード

ユーザーが手順をどの程度理解しているかをテストする必要がある場合は、評価モードを使用します。ユーザーによって正しいオプションがクリックされるたびに与えるスコアを設定できます。また、ユーザーが手順を何回試行できるかを設定することもできます。ユーザーが指定された試行回数以内に正しいオプションをクリックできなかった場合、ムービーは次のスライドに移動しません。試行が失敗に終わった場合、ユーザーにスコアは与えられません。

評価用モードでスライドを記録すると、Adobe Captivate によって次の処理が行われます。

- ユーザーがマウスをクリックする必要がある場所にクリックボックスが追加されます。
- ユーザーによる入力用のテキスト入力ボックスが追加されます。失敗キャプションが各テキスト入力ボックスに追加されます。

## カスタムモード

複数のモードの機能を組み合わせて使用する必要があるプロジェクトの場合は、カスタムモードを使用します。このモードを使用すると、Adobe Captivate で最高レベルのカスタマイズを実現できます。カスタムモードでは、デモンストレーションとトレーニングの両方で構成されるプロジェクトを作成し、評価機能を含めることもできます。カスタムモードでの記録時に Adobe Captivate オブジェクトがデフォルトで追加されることはありません。

例えば、ファイルの編集に関するトレーニング用のムービーについて考えてみましょう。アプリケーションを開いたり、ファイルを開いたりするなど、比較的単純なタスクを示す冒頭の数枚のスライドには、デモモードで作成されたスライドをそのまま使用できます。編集手順について説明したスライドに進むと、ユーザーがインタラクションできる様々なオブジェクトを追加できます。プロジェクトの最後には、評価スライドを追加できます。

## マルチモード記録

Adobe Captivate プロジェクトを記録する場合、複数のモードで記録できます。マルチモード記録を使用すると、複数の自動記録モードでの出力を必要とするプロジェクトで作業する際に時間を節約できます。

---

## 手動記録

[トップへ戻る](#)

記録時にスクリーンショットをキャプチャして、プロジェクトを手動で作成することができます。記録処理中に少数のスクリーンショットを選択する必要がある場合は、手動記録を使用します。手順が多くて複雑な処理には向いていません。

---

## パニング

[トップへ戻る](#)

画面内でのマウスポインターの移動に記録ウィンドウを合わせる場合は、パニングを使用します。パニングにより、記録ウィンドウが画面のサイズより小さい場合でも、大きな画面でイベントを容易にキャプチャできます。

Adobe Captivate では、次のパニングオプションを使用できます。

自動パニング 記録中にマウスを動かすたびに、記録ウィンドウがポインターの動きに合わせて自動的に移動します。

手動パニング 次のイベントが発生する領域に記録ウィンドウを手動で移動する必要があります。それ以外は、自動パニングオプションと同じです。

---

## 記録の環境設定の指定

[トップへ戻る](#)

記録オプションで「設定」をクリックします。オプションの詳細な説明については、[Adobe Captivate ヘルプ](#)を参照してください。

---

## アプリケーションシミュレーションの編集

[トップへ戻る](#)

1. スライドの「SWF」をクリックし、「アプリケーションシミュレーション」グループの「編集」をクリックします。Adobe Captivate が表示されます。

注意： どのスライドに SWF ファイルが含まれているかを検索するには、SWF (Flash) を管理ダイアログボックス（グループを挿入 / SWF / 管理）を開きます。

2. 必要に応じてシミュレーションを変更します。Adobe Captivate を使用したアプリケーションシミュレーションの編集について詳しくは、[Adobe Captivate ヘルプ](#)を参照してください。

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

# Adobe Presenter 8.0 の新機能

Adobe® Presenter 8 ソフトウェアは PowerPoint 2010 をサポートしており、すぐに使用できるアセットやクイズを使用してスライドをインタラクティブなコンテンツに変換するのに役立ちます。デスクトップで作成でき、ビデオ共有サイトやモバイルデバイスに配信できるビデオとの通信品質が向上します。

**PowerPoint 2010 のサポート** さらに機能が向上した変換ライブラリを使用して、PowerPoint 2010 のスライド (オブジェクト、アニメーション、マルチメディアなど) を、リッチでインタラクティブなビデオ プレゼンテーションに変換できます。

**Adobe Captivate® 6 との統合** Adobe Captivate を使用した PowerPoint での堅牢なソフトウェアシミュレーションを生成します。単一の録音セッションで、手順のデモ、練習ステップのシミュレーション、評価など複数の学習モードを作成します。詳しくは、アプリケーションシミュレーションの記録を参照してください。

**デスクトップベースのビデオ制作** 特別な装置やトレーニングなしに自分でビデオの作成をデスクトップで行うことにより、それにかかる時間、手間、コストを最小限に抑えることができます。クリックを数回するだけで、スライド プレゼンテーション、Web カメラ ビデオ、オーディオを同時にキャプチャーして、魅力的なビデオ プレゼンテーションを作成できます。

Adobe Presenter で作成したビデオベースのコンテンツを YouTube やほかのビデオ共有サイトで公開することで、さらに多くの視聴者に見てもらうことができます。詳しくは、ビデオプレゼンテーションの記録を参照してください。

**スマート学習インタラクション** 優れたデザインの対話型要素をコンテンツに挿入することが 1 回のクリックだけで行えます。プロセスサイクル、用語集など、すぐに使える幅広いインタラクションから選択し、コンテンツや外観をカスタマイズして完了します。詳しくはインタラクションウィジェットの挿入を参照してください。

**アクター** 人物キャラクターを使用して、ストーリーをより効果的に表現できます。さまざまな既成のアクターの中から適当なものを選択してさまざまなジェスチャーを行わせることで、コンテンツがさらに個性的なものにすることができます。対応するバックグラウンドに俳優を設定し、シナリオをより現実的にします。詳しくは、アニメーション、イメージおよび Flash (SWF) ファイルの追加を参照してください。

**タブレットへのパブリッシュ** Adobe Presenter 用モバイルアプリケーションを使用して、ビデオを iPad または Android に配信します。アプリケーションからスコアデータを AICC 準拠の LMS に書き出します。アドビ システムズ社から白いラベルのアプリケーションを取得して、自社向けにブランドを作成することもできます。

---

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)